

第3次熊本市環境総合計画 重点協働プロジェクト  
に関する市民アンケート調査報告書

～未来へつなぎ、世界に誇れる環境文化都市～

平成27年10月

熊本市

1. 調査概要	1
2. アンケート調査結果	2
(1) 回答者の内訳	2
(2) 調査結果	3

■ 「ひとづくり」プロジェクトについて

1. 環境について学ぶ機会（学習会やイベント等）が増えてきたと感じますか。	3
2. この1年以内で、環境に関する学習会やイベント等に参加しましたか。	5
2-1. 問2で「参加した」と回答した場合、どのような環境に関する学習会やイベント等に参加しましたか。	7
2-2. 問2で「参加した」と回答した場合、参加したことによって、環境保全のために実践するようになった行動（活動）はありますか。また、あるとしたらどういったことですか。	9
2-3. 問2で「参加していない」と回答した場合、参加しなかった理由は何ですか。	12
3. 今後、どのような内容の学習会等に参加してみたいと思いますか。	14
4. どのような条件が整えば、より環境に関する学習会やイベント等に参加したいと思いますか。	16
5. 市民の環境保全意識を高めるために、市としてどのような取り組みを行えば効果的だと思いますか。	18

■ 「まちづくりプロジェクト」について

6. 環境保全に関わるまちづくりの活動が増えてきたと感じますか。	21
7. 日頃、地域の環境保全活動に参加していますか。	23
7-1. 問7で「参加している」と回答した場合、どのような団体の活動に参加していますか。	25
7-2. 問7で「参加している」と回答した場合、現在、地域においてどのような環境保全活動に参加していますか。	27
7-3. 問7で「参加したことはないが、今後してみたい」と回答した場合、どのような団体の活動に参加してみたいですか。	29
7-4. 「参加したことはないが、今後してみたい」と回答した場合、今後、どのような環境保全活動に参加してみたいですか。	31
7-5. 問7で「参加したことはないし、今後もしたいと思わない」と回答した場合、参加したいと思わない理由は何ですか。	33

8. どのような条件が整えば、より多くの人まちづくりとしての環境保全活動に関わるようになると思いますか。	・・・36
9. 地域で市民活動団体や市民が環境保全活動を行う際、どのような支援が必要だと思いますか。	・・・39
10. 普段、環境に関する情報を何から得ていますか。	・・・41
11. 環境に関する情報について、今後求めたいもの（不足しているもの）は何ですか。	・・・43
■「カーボン・オフセット」について	
12. 「カーボン・オフセット」について知っていますか。	・・・45
■「生物多様性」について	
13. 「生物多様性」について知っていますか。	・・・47
<b>3. 調査結果総括</b> .....	<b>49</b>
<b>4. 参考資料（調査票）</b> .....	<b>54</b>

## 1. 調査概要

### ■調査目的

平成23年3月に策定した第3次熊本市環境総合計画では「未来へつなぎ、世界に誇れる環境文化都市」を目指すべき都市像として掲げ、それを実現するために共通して取り組む事項として「環境教育によるひとづくり」、「協働によるまちづくり」を重点協働プロジェクトとして位置づけている。また、本計画では、プロジェクトの実施状況や進捗状況を、市民意識調査等により毎年度点検評価し、その結果を計画実施体制等に反映し、着実な推進を図ることとしている。

本調査は、市民の日頃の環境保全行動・活動の取り組み状況や、それに対するニーズなどを調査し、重点協働プロジェクトの進捗状況の把握及び、新たに実施する施策の方向性を検討する資料とするため実施したものである。

### ■調査対象

市民：3,000人（住民基本台帳より満20歳以上89歳以下の市民を無作為抽出）

### ■調査方法

アンケート調査票の郵送配布・回収

### ■調査期間

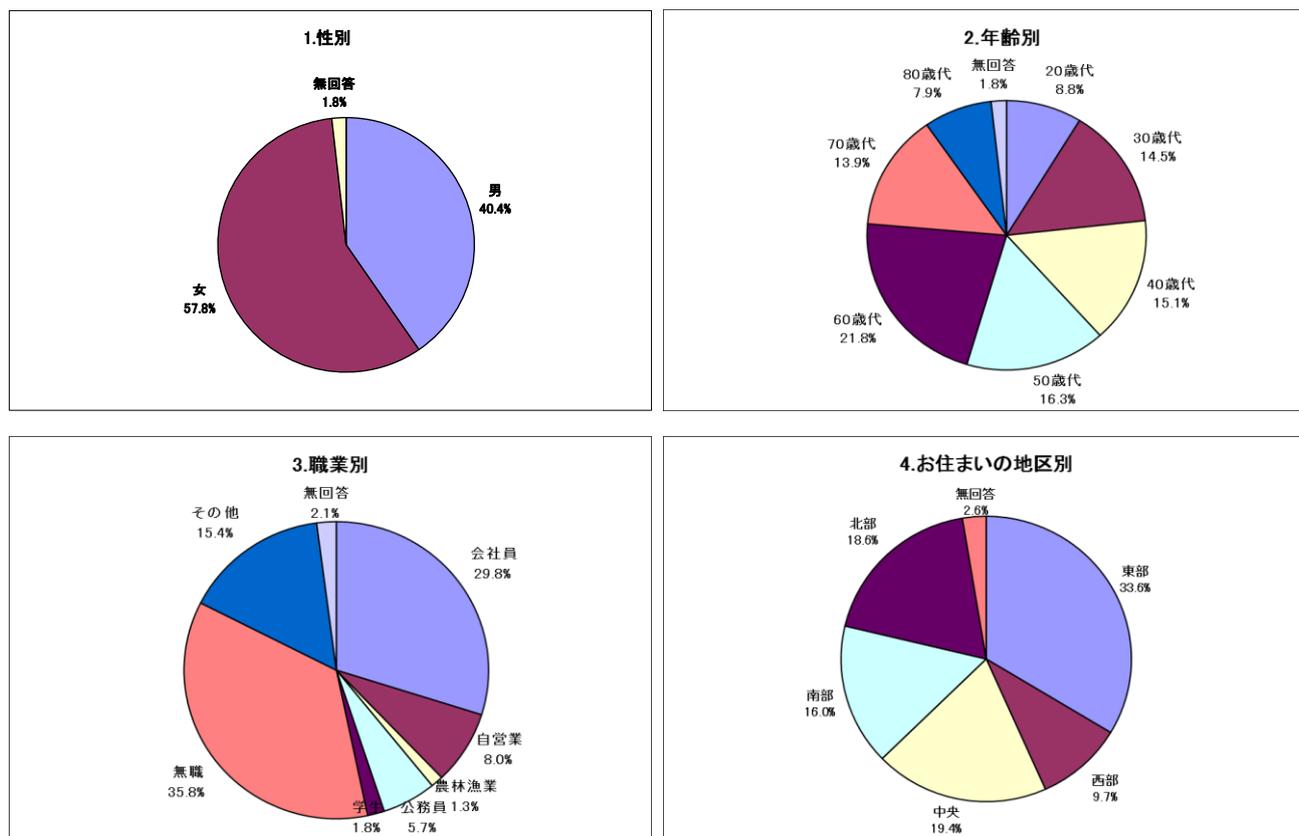
平成26年8月～10月

### ■有効回収数（有効回収率）

1,062人（35.4%）

## 2. アンケート調査結果(平成26年度)

### (1)回答者の内訳



回答欄	該当地区（小学校区域）
1 東区	画図、健軍、秋津、泉ヶ丘、若葉、尾ノ上、西原、託麻東、託麻西、託麻北、桜木、東町、月出、健軍東、託麻南、山ノ内、長嶺、桜木東
2 西区	古町、春日、城西、花園、池田、白坪、高橋、池上、城山、松尾東、松尾西、松尾北、小島、中島、芳野、河内
3 中央区	壺川、碩台、白川、城東、慶徳、一新、五福、向山、黒髪、大江、本荘、春竹、出水、砂取、託麻原、帯山、白山、帯山西、出水南
4 南区	日吉、川尻、力合、御幸、田迎、城南、田迎南、田迎西、飽田東、飽田南、飽田西、中緑、銭塘、奥古閑、川口、日吉東、富合、杉上、隈庄、豊田、田迎西、力合西
5 北区	清水、龍田、城北、高平台、楠、麻生田、武蔵、弓削、楡木、川上、西里、北部東、植木、山本、田原、菱形、桜井、山東、田底、吉松

## (2)調査結果

### 問1～5「ひとづくりプロジェクト」について

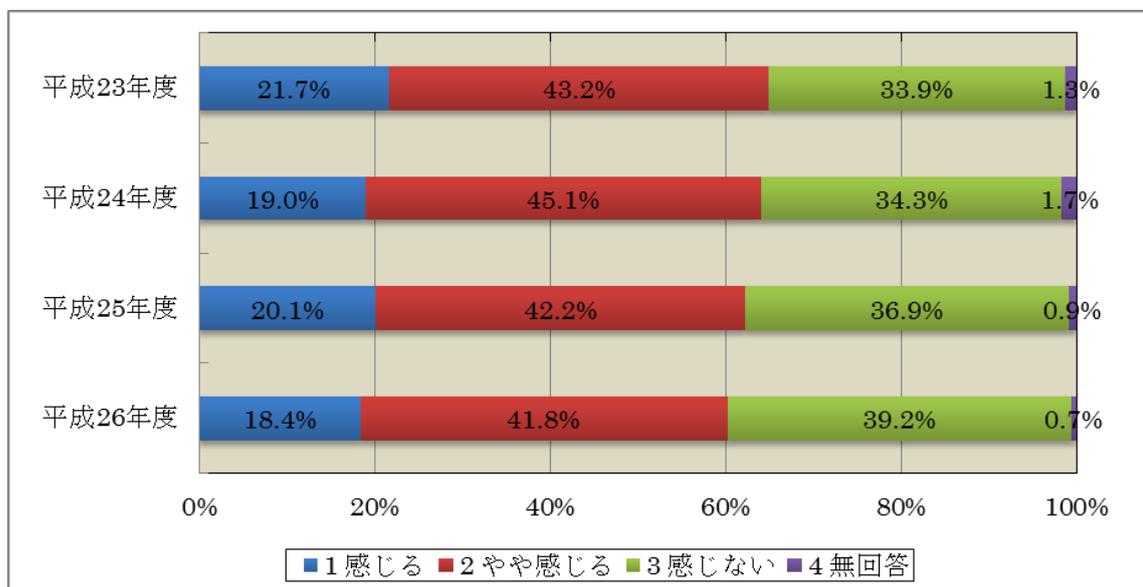
問1. 環境について学ぶ機会(学習会やイベント等)が増えてきたと感じますか。(1つだけ)

#### 【全体結果】

「やや感じる」の割合が、41.8%と最も高く、次いで「感じない」(39.2%)、「感じる」(18.4%)となっている。

#### 【前回調査との比較】

「感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は 60.2%で、前回調査と比較すると 2.1ポイント減少している。



#### 【回答者の属性別にみた結果】

性別にみると、「感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は、男性は 58.5%、女性は 61.4%と、女性がやや上回っている。

年代別にみると、「感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は、70 歳代が 67.6%と最も高く、次いで 60 歳代(65.0%)、40 歳代(64.4%)となっている。また、20 歳代と 30 歳代では、「感じない」の割合がそれぞれ 53.8%、50.6%と、他の年代と比較して高くなっている。

地区別では、「感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は、西部が 63.1%と最も高く、次いで中央(62.1%)、南部(61.1%)となっている。

■回答者の属性別にみた「環境について学ぶ機会(学習会やイベント等)が増えてきたと感じますか。(1つだけ)」

	合計	感じる	やや感じる	感じない	無回答
全体	1,062	18.4%	41.8%	39.2%	0.7%
性別					
男性	429	19.3%	39.2%	41.5%	0.0%
女性	614	17.6%	43.8%	37.5%	1.1%
年代別					
20歳代	93	12.9%	33.3%	53.8%	0.0%
30歳代	154	8.4%	40.9%	50.6%	0.0%
40歳代	160	18.8%	45.6%	35.6%	0.0%
50歳代	173	17.3%	44.5%	37.0%	1.2%
60歳代	231	20.8%	44.2%	33.3%	1.7%
70歳代	148	25.7%	41.9%	32.4%	0.0%
80歳代	84	23.8%	34.5%	40.5%	1.2%
職業別					
会社員	317	15.5%	41.0%	42.9%	0.6%
自営業	85	16.5%	52.9%	30.6%	0.0%
農林漁業	14	7.1%	28.6%	64.3%	0.0%
公務員	61	26.2%	37.7%	36.1%	0.0%
学生	19	10.5%	31.6%	57.9%	0.0%
無職	380	20.5%	41.1%	37.9%	0.5%
その他	164	18.9%	43.9%	35.4%	1.8%
地区別					
東部	357	16.0%	43.1%	40.3%	0.6%
西部	103	24.3%	38.8%	35.9%	1.0%
中央	206	18.9%	43.2%	37.4%	0.5%
南部	170	18.2%	42.9%	37.6%	1.2%
北部	198	18.2%	39.4%	41.9%	0.5%

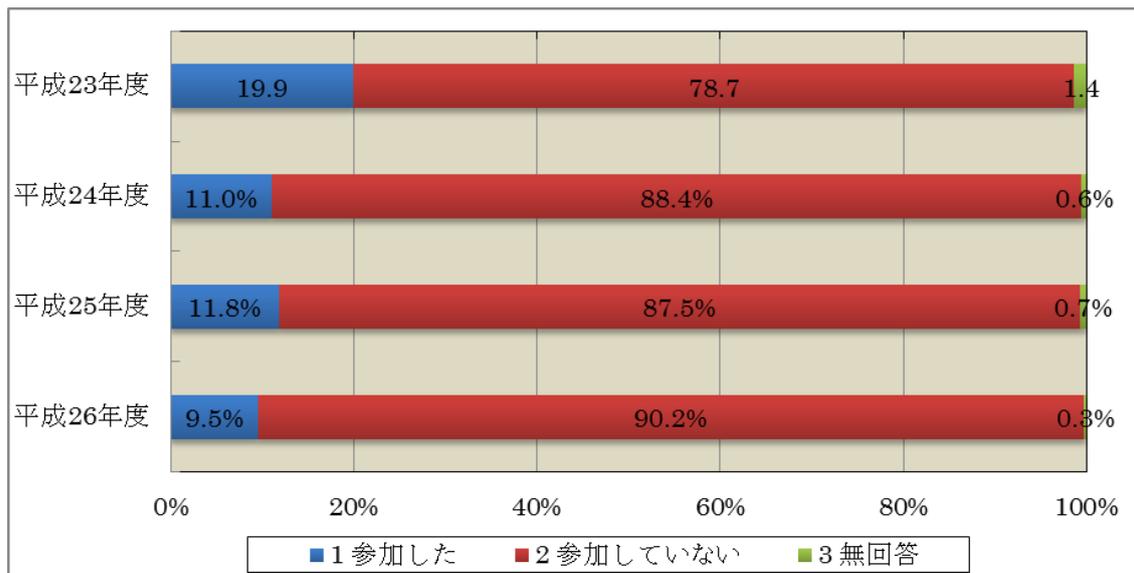
問2. この 1 年以内で、環境に関する学習会やイベント等に参加しましたか。(1つだけ)

【全体結果】

「参加した」割合は 9.5%で、全体の 9 割以上が学習会やイベントに参加していないと回答している。

【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、「参加した」割合は 2.3 ポイント減少している。また、調査初年度と比較すると、10.4 ポイント減少している。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別では、「参加した」割合は 70 歳代が 15.5%と最も高く、次いで 80 歳代 (14.3%)、60 歳代 (13.4%)となっている。60 歳代以上の世代は、それ以下の世代と比較して、「参加した」割合が高くなっている。

地区別にみると、「参加した」割合は西部が 14.6%と最も高く、次いで東部 (9.8%)、中央 (9.7%)となっている。

■回答者の属性別にみた「この 1 年以内で、環境に関する学習会やイベント等に参加しましたか。(1つだけ)」

	合計	参加した	参加していない	無回答
全体	1,062	9.5%	90.2%	0.3%
性別				
男性	429	10.3%	89.5%	0.2%
女性	614	9.3%	90.4%	0.3%
年代別				
20歳代	93	3.2%	96.8%	0.0%
30歳代	154	5.2%	94.8%	0.0%
40歳代	160	6.9%	92.5%	0.6%
50歳代	173	7.5%	92.5%	0.0%
60歳代	231	13.4%	86.1%	0.4%
70歳代	148	15.5%	83.8%	0.7%
80歳代	84	14.3%	85.7%	0.0%
職業別				
会社員	317	5.0%	95.0%	0.0%
自営業	85	15.3%	84.7%	0.0%
農林漁業	14	7.1%	92.9%	0.0%
公務員	61	11.5%	86.9%	1.6%
学生	19	15.8%	84.2%	0.0%
無職	380	12.6%	87.1%	0.3%
その他	164	7.9%	91.5%	0.6%
地区別				
東部	357	9.8%	89.9%	0.3%
西部	103	14.6%	84.5%	1.0%
中央	206	9.7%	90.3%	0.0%
南部	170	7.6%	92.4%	0.0%
北部	198	9.1%	90.4%	0.5%

問2-1. 問2で「参加した」と答えられた方にお尋ねします。

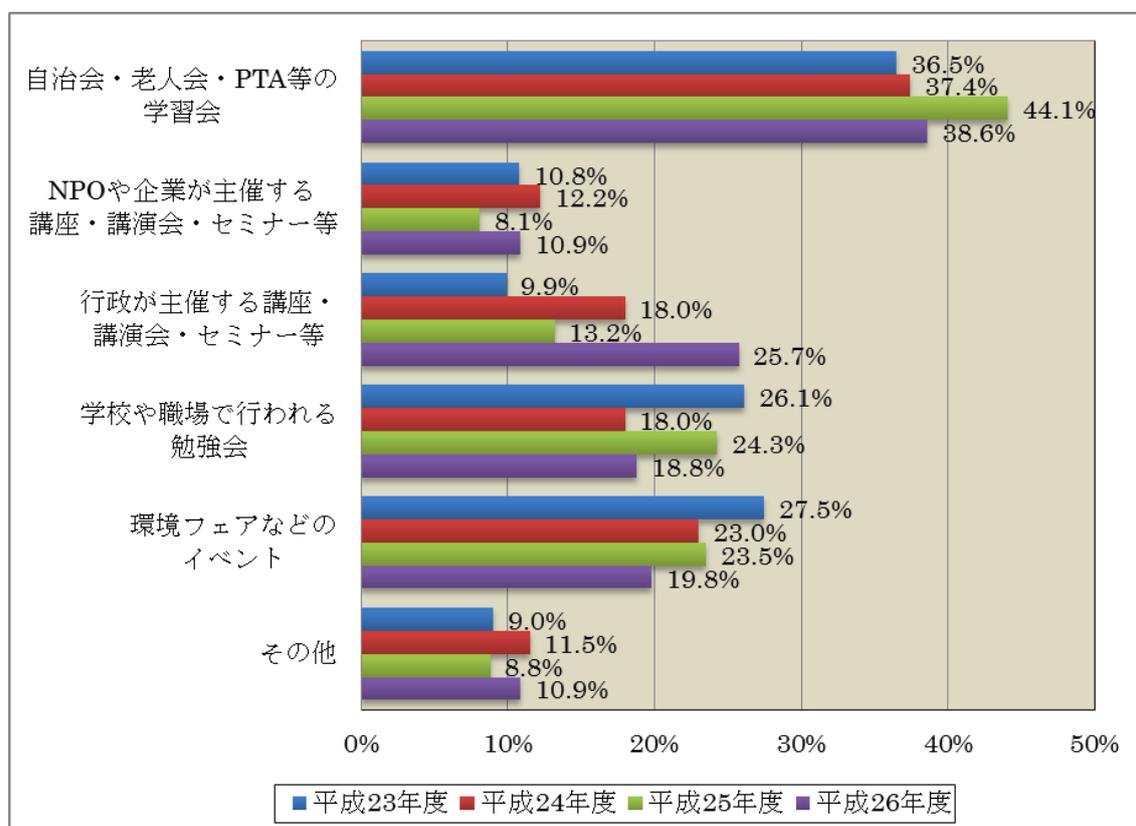
この1年以内で、どのような、環境に関する学習会やイベント等に参加しましたか。  
(複数回答可)

### 【全体結果】

・「自治会・老人会・PTA等の学習会」の割合が 38.6%と最も高く、次いで「行政が主催する講座・講演会・セミナー等」(25.7%)、「環境フェアなどのイベント」(19.8%)となっている。

### 【前回調査との比較】

・前回調査と比較して、「自治会・老人会・PTA等の学習会」や「学校や職場で行われる勉強会」、「環境フェアなどのイベント」は、参加したと回答した割合が減少しているが、「NPOや企業が主催する講座・講演会・セミナー等」や「行政が主催する講座・講演会・セミナー等」は増加している。



### 【回答者の属性別にみた結果】

性別にみると、「学校や職場で行われる勉強会」の割合は、男性が 27.3%、女性が 12.3%と、男性が上回っている。また、「自治会・老人会・PTA等の学習会」の割合は、女性が 43.9%、男性が 31.8%と、女性が上回っている。

■回答者の属性別にみた「問2で「参加した」と回答した場合、どのような学習会やイベント等に参加しましたか。（複数回答可）」

	合計	P T A 等 の 学 習 会 ・	会 催 ・ す セ ミ ナ ー 等	N P O や 企 業 が 主 演	座 ・ 政 が 主 催 す る 講 演 会 ・ セ ミ ナ ー 等	学 校 や 職 場 で 行 わ れる 勉 強 会	イ 環 境 フ エ ア な ど の ベ ン ト	そ の 他
全体	101	38.6%	10.9%	25.7%	18.8%	19.8%	10.9%	
性別								
男性	44	31.8%	13.6%	22.7%	27.3%	20.5%	11.4%	
女性	57	43.9%	8.8%	28.1%	12.3%	19.3%	10.5%	
年代別								
20歳代	3	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	
30歳代	8	12.5%	25.0%	12.5%	25.0%	25.0%	0.0%	
40歳代	11	9.1%	18.2%	36.4%	27.3%	54.5%	18.2%	
50歳代	13	23.1%	0.0%	7.7%	53.8%	15.4%	15.4%	
60歳代	31	41.9%	12.9%	32.3%	12.9%	16.1%	6.5%	
70歳代	23	60.9%	4.3%	26.1%	8.7%	13.0%	17.4%	
80歳代	12	58.3%	8.3%	33.3%	0.0%	8.3%	8.3%	
職業別								
会社員	16	12.5%	12.5%	6.3%	56.3%	43.8%	6.3%	
自営業	13	53.8%	15.4%	30.8%	7.7%	38.5%	0.0%	
農林漁業	1	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
公務員	7	0.0%	14.3%	14.3%	57.1%	0.0%	14.3%	
学生	3	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	
無職	48	45.8%	6.3%	33.3%	2.1%	10.4%	18.8%	
その他	13	53.8%	15.4%	30.8%	23.1%	15.4%	0.0%	
地区別								
東部	35	34.3%	14.3%	17.1%	20.0%	20.0%	17.1%	
西部	15	66.7%	13.3%	13.3%	13.3%	13.3%	26.7%	
中央	20	35.0%	5.0%	50.0%	20.0%	15.0%	0.0%	
南部	13	30.8%	0.0%	30.8%	23.1%	38.5%	7.7%	
北部	18	33.3%	16.7%	22.2%	16.7%	16.7%	0.0%	

◆ 参考 ◆

○「その他」のイベント等

- ・校区の環境ボランティア委員会による国道清掃。
- ・婦人会。
- ・バスツアー。
- ・隊友会。
- ・生ゴミの堆肥化(ダンボールコンポスト)、節電。
- ・自治会回覧。
- ・学会。
- ・リサイクル情報プラザでのイベント。
- ・自分が信仰している場での勉強会。

問2-2. 問2で「参加した」と答えられた方にお尋ねします。

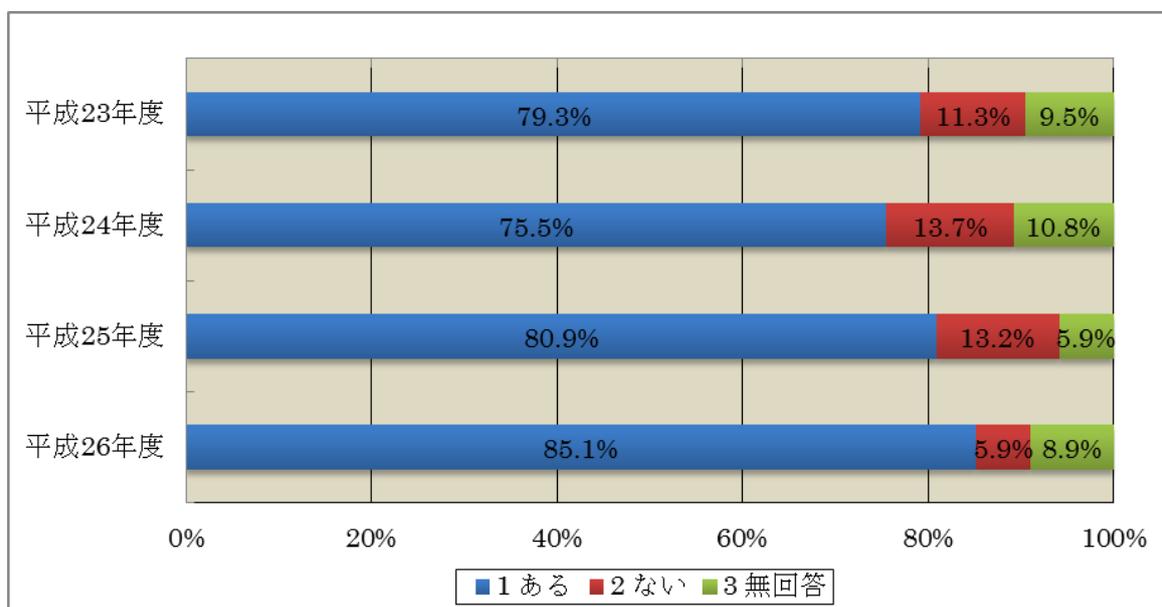
参加したことによって、環境保全のために実践するようになった行動(活動)はありますか。(1つだけ)

### 【全体結果】

「ある」と回答した割合は 85.1%となっている。

### 【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、「ある」の割合は 4.2 ポイント増加している。



### 【回答者の属性別にみた結果】

・性別にみると、「ある」の割合は、女性が 89.5%、男性が 79.5%と、女性が上回っている。

■回答者の属性別にみた「問2で「参加した」と回答した場合、参加したことによって、環境保全のために実践するようになった行動(活動)はありますか。(1つだけ)」

	合計	ある	ない	無回答
全体	101	85.1%	5.9%	8.9%
性別				
男性	44	79.5%	9.1%	11.4%
女性	57	89.5%	3.5%	7.0%
年代別				
20歳代	3	66.7%	0.0%	33.3%
30歳代	8	75.0%	12.5%	12.5%
40歳代	11	81.8%	18.2%	0.0%
50歳代	13	100.0%	0.0%	0.0%
60歳代	31	83.9%	0.0%	16.1%
70歳代	23	87.0%	8.7%	4.3%
80歳代	12	83.3%	8.3%	8.3%
職業別				
会社員	16	87.5%	6.3%	6.3%
自営業	13	84.6%	0.0%	15.4%
農林漁業	1	100.0%	0.0%	0.0%
公務員	7	85.7%	14.3%	0.0%
学生	3	66.7%	0.0%	33.3%
無職	48	87.5%	6.3%	6.3%
その他	13	76.9%	7.7%	15.4%
地区別				
東部	35	77.1%	11.4%	11.4%
西部	15	93.3%	6.7%	0.0%
中央	20	95.0%	0.0%	5.0%
南部	13	84.6%	0.0%	15.4%
北部	18	83.3%	5.6%	11.1%

◆ 参考 ◆

○「ある」と答えた場合、実践している内容

実践している内容	回答数
節水	16
水質保全	5
緑化	2
生態系の保全	3
節電	6
3R(ごみの減量、再利用、リサイクル)	23
地域の美化活動(清掃、草取りなど)	24
その他	7

#### 【「その他」の内容】

- ・木材の有効利用、バイオマス発電。
- ・不必要な農薬等の散布の禁止、他害（農薬）の最小限の散布。
- ・環境保全材料の開発。
- ・職場の環境保全活動への参加。
- ・子や孫たちへの日常的な自然環境、食、農業への啓発活動、その他いろんな集会での啓蒙活動。
- ・燃費のよいハイブリットカーの購入。
- ・車通勤からバイク、自転車通勤への変更。

#### ○「ない」と答えた場合、実践していない理由

- ・以前からすでに実践しているため。
- ・病気など身体的理由。
- ・なんとなく実践する気になれないため。

問2-3. 問2で「参加していない」と答えられた方にお尋ねします。

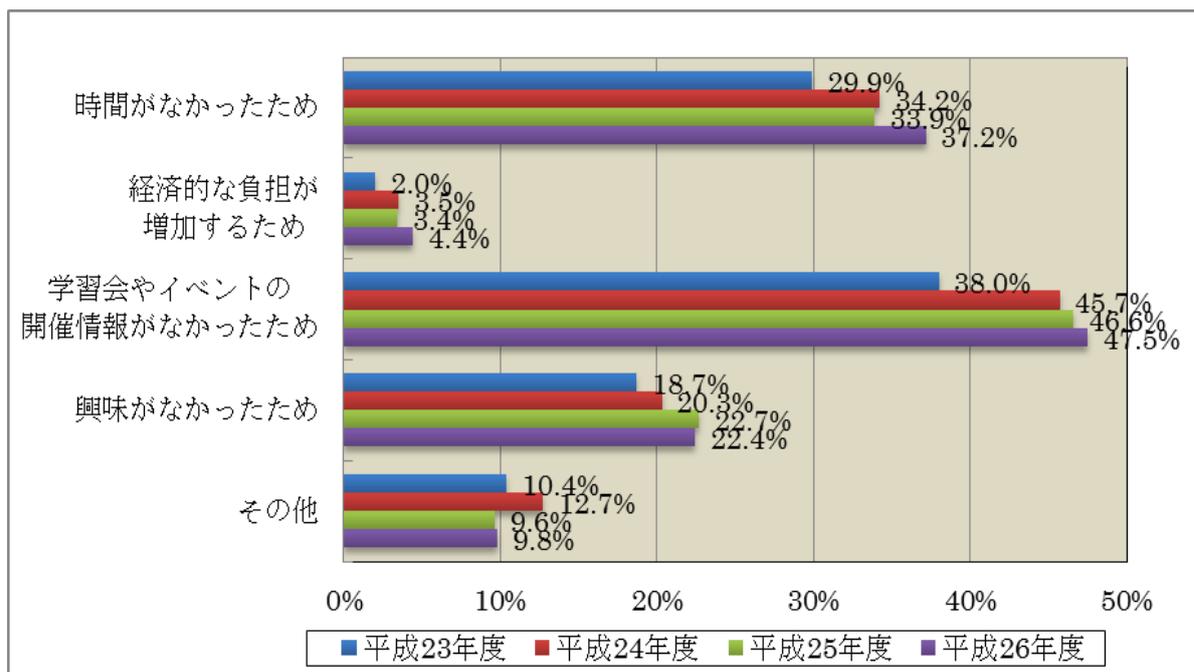
参加しなかった理由は何ですか。(複数回答可)

### 【全体結果】

・「学習会やイベントの開催情報がなかったため」が 47.5%と最も高く、次いで「時間がなかったため」(37.2%)、興味がなかったため(22.4%)となっている。

### 【前回調査との比較】

・前回調査と比較して、順位や割合に大きな変化は見られない。



### 【回答者の属性別にみた結果】

性別にみると、「学習会やイベントの開催情報がなかったため」の割合が、男性が 54.2%、女性が 42.7%と、男性が上回っている。

また、「時間がなかったため」の割合が、女性が 40.5%、男性が 33.1%と、女性が上回っている。

年代別では、40 歳代及び 50 歳代では「時間がなかったため」の割合が最も高くなっている。それ以外の年代では「学習会やイベントの開催情報がなかったため」の割合が最も高くなっている。

■回答者の属性別にみた「問2で「参加していない」と回答した場合、参加しなかった理由は何ですか。(複数回答可)」

	合計	時間がなかった	経済的な負担が増	学習会やイベントの開催情報がなかった	興味なかった	その他
全体	958	37.2%	4.4%	47.5%	22.4%	9.8%
性別						
男性	384	33.1%	4.4%	54.2%	20.3%	7.8%
女性	555	40.5%	4.3%	42.7%	24.3%	11.2%
年代別						
20歳代	90	42.2%	3.3%	58.9%	35.6%	5.6%
30歳代	146	39.7%	4.8%	44.5%	31.5%	9.6%
40歳代	148	50.7%	6.1%	41.2%	18.9%	4.7%
50歳代	160	48.1%	6.9%	43.8%	18.8%	9.4%
60歳代	199	36.2%	3.5%	51.3%	15.6%	7.0%
70歳代	124	18.5%	1.6%	50.0%	25.0%	14.5%
80歳代	72	12.5%	2.8%	44.4%	20.8%	26.4%
職業別						
会社員	301	48.5%	4.0%	48.5%	21.9%	5.3%
自営業	72	41.7%	5.6%	52.8%	15.3%	6.9%
農林漁業	13	38.5%	0.0%	61.5%	15.4%	7.7%
公務員	53	47.2%	0.0%	37.7%	20.8%	11.3%
学生	16	31.3%	0.0%	56.3%	43.8%	6.3%
無職	331	23.9%	5.4%	48.6%	23.6%	13.3%
その他	150	40.7%	4.7%	40.0%	25.3%	12.7%
地区別						
東部	321	34.3%	4.7%	49.8%	22.4%	7.5%
西部	87	33.3%	8.0%	49.4%	21.8%	14.9%
中央	186	39.8%	5.4%	46.2%	24.2%	8.6%
南部	157	46.5%	1.3%	40.1%	24.8%	10.8%
北部	179	35.8%	3.9%	51.4%	19.0%	11.2%

◆ 参考 ◆

○その他の理由

「その他」の参加しなかった理由	回答数
身体的理由(体が不自由、など)	26
時間が合わなかったため	8
高齢のため	7
開催場所が遠かったため	2
参加する意義を感じなかったため	2
参加しづらさを感じたため(地域になじんでいない、など)	6
面倒だったため	2
その他	8

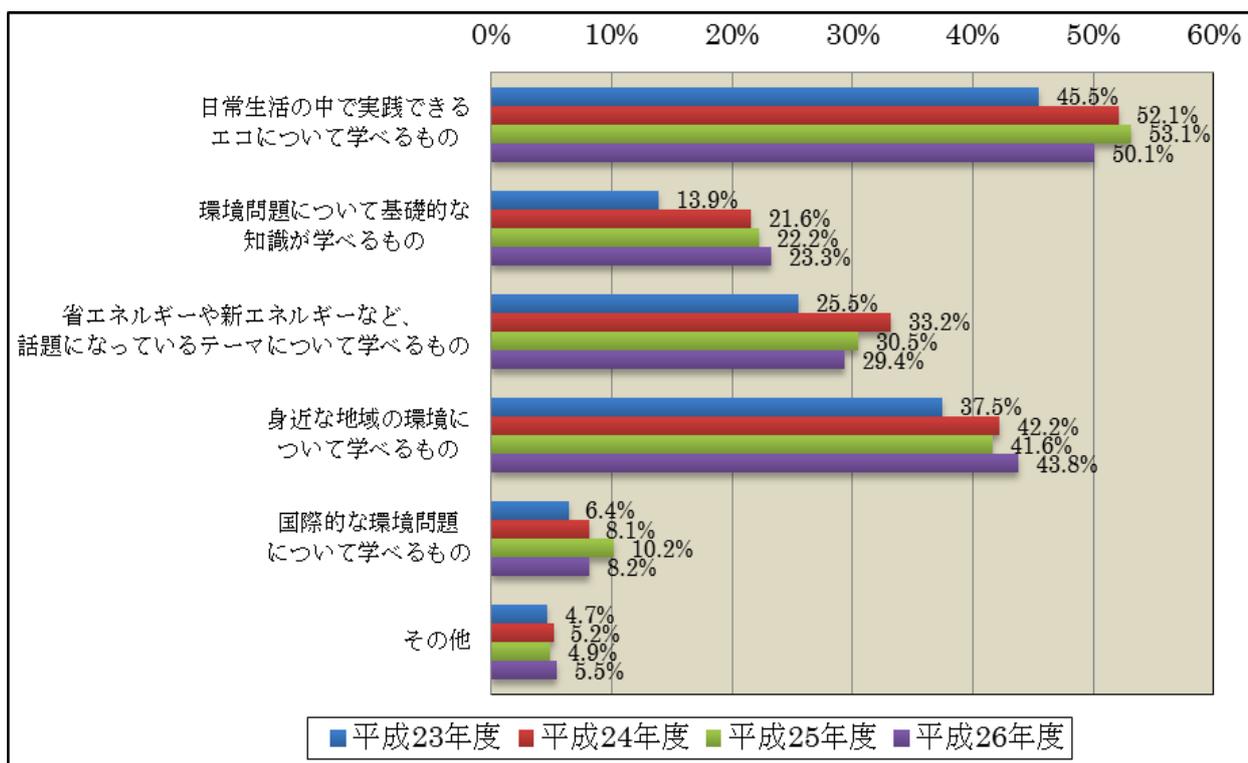
問3. 今後、どのような内容の学習会等に参加してみたいと思いますか。(複数回答可)

【全体結果】

「日常生活の中で実践できるエコについて学べるもの」の割合が 50.1%と最も高く、次いで「身近な地域の環境について学べるもの」(43.8%)、「省エネルギーや新エネルギーなど、話題になっているテーマについて学べるもの」(29.4%)となっている。

【前回調査との比較】

前回調査と比較して、順位や割合に大きな変化は見られない。



【回答者の属性別にみた結果】

性別にみると、「省エネルギーや新エネルギーなど、話題になっているテーマについて学べるもの」が、男性が 34.7%と、女性が 24.9%と、男性が上回っている。また「日常生活の中で実践できるエコについて学べるもの」の割合が、女性が 57.7%、男性が 39.2%と、女性が上回っている。

年代別では、20 歳代から 50 歳代までは「日常生活の中で実践できるエコについて学べるもの」の割合が最も高くなっている。また、60 歳代以上では「身近な地域の環境について学べるもの」の割合が最も高くなっている。

■回答者の属性別にみた「今後、どのような内容の学習会等に参加してみたいと思いますか。(複数回答可)」

	合計	実践で学べるもの	日常生活の場での学び	基礎的な知識の習得	環境問題に関する知識の習得	専門的な知識の習得	身近な地域環境	国際的な環境問題	その他
全体	1,062	50.1%	23.3%	29.4%	43.8%	8.2%	5.5%		
性別									
男性	429	39.2%	22.8%	34.7%	47.6%	9.6%	6.1%		
女性	614	57.7%	23.9%	24.9%	41.5%	7.5%	4.9%		
年代別									
20歳代	93	53.8%	22.6%	35.5%	35.5%	17.2%	4.3%		
30歳代	154	57.8%	22.1%	27.3%	40.3%	14.9%	6.5%		
40歳代	160	56.3%	30.0%	35.0%	40.6%	11.3%	3.1%		
50歳代	173	53.8%	23.1%	33.5%	42.2%	5.8%	5.2%		
60歳代	231	47.6%	26.4%	26.8%	51.1%	4.8%	3.9%		
70歳代	148	39.2%	18.2%	25.0%	48.0%	3.4%	7.4%		
80歳代	84	38.1%	16.7%	16.7%	44.0%	4.8%	9.5%		
職業別									
会社員	317	51.4%	27.1%	33.4%	42.3%	11.0%	4.1%		
自営業	85	48.2%	15.3%	35.3%	42.4%	9.4%	8.2%		
農林漁業	14	35.7%	7.1%	50.0%	57.1%	7.1%	0.0%		
公務員	61	52.5%	31.1%	34.4%	42.6%	11.5%	6.6%		
学生	19	52.6%	21.1%	36.8%	42.1%	10.5%	0.0%		
無職	380	45.8%	19.7%	21.6%	46.8%	5.3%	5.8%		
その他	164	57.9%	28.7%	29.9%	41.5%	8.5%	6.1%		
地域別									
東部	357	47.6%	24.9%	28.6%	42.0%	9.2%	4.8%		
西部	103	57.3%	24.3%	25.2%	51.5%	7.8%	4.9%		
中央	206	47.1%	25.7%	34.5%	47.6%	10.2%	5.8%		
南部	170	49.4%	17.6%	28.2%	40.6%	7.1%	7.1%		
北部	198	54.5%	23.7%	26.8%	42.9%	6.1%	4.5%		

◆ 参考 ◆

○その他の内容

- ・熊本の美しい水、その他の自然について学べるもの。
- ・放射能について、シーベルトなどの単位の基本や人体への影響について。
- ・親子で一緒に参加できるもの。
- ・他県での取組や上手いっている所の情報など。
- ・インターネットで情報発信するもの。
- ・公害問題、特に水に対する水質汚染に関する事。
- ・省電力技術。
- ・中国の環境汚染が九州に与える影響について。
- ・ディスカッション
- ・海洋環境。
- ・「プラごみ」の分別回収費用(税)に対する効果について。

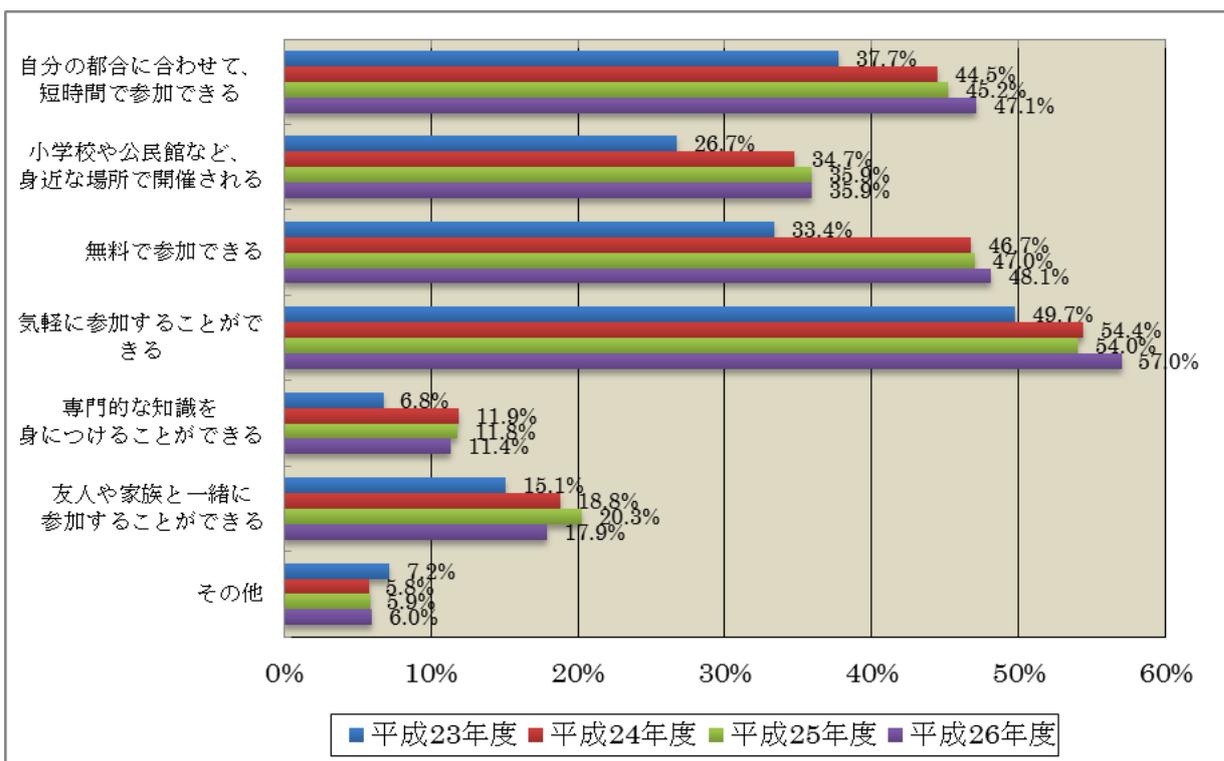
問4. どのような条件が整えば、より環境に関する学習会やイベント等に参加したいと思いますか。(複数回答可)

【全体結果】

・「気軽に参加することができる」の割合が 57.0%と最も高く、次いで「無料で参加できる」(48.1%)、「自分の都合に合わせて、短時間で参加できる」(47.1%)となっている。

【前回調査との比較】

・前回調査と比較して、順位や割合に大きな変化は見られない。



【回答者の属性別にみた結果】

性別にみると、「無料で参加できる」の割合が、女性が 53.1%、男性が 41.5%と、女性が上回っている。

世代別にみると、若い世代になるほど「無料で参加できる」の割合が高くなっている。また、20歳代から50歳代では「自分の都合に合わせて、短時間で参加できる」の割合が比較的高くなっている。

■回答者の属性別にみた「どのような条件が整えば、より環境に関する学習会やイベント等に参加したいと思いますか。(複数回答可)」

	合計	加せ で できる	自 分 の 都 合 に 合 わ る	開 催 さ れ る	小 学 校 や 公 民 館 な ど	無 料 で 参 加 で き る	と 気 が 軽 に 参 加 す る こ と	き に 専 門 的 な 知 識 が 身 に つ け ら れ る	で に 友 人 や 家 族 と 一 緒 に 参 加 す る	そ の 他
全体	1,062	47.1%	35.9%	48.1%	57.0%	11.4%	17.9%	6.0%		
性別										
男性	429	44.3%	34.0%	41.5%	55.9%	14.0%	16.6%	7.0%		
女性	614	49.2%	37.5%	53.1%	58.0%	9.9%	18.9%	5.2%		
年代別										
20歳代	93	58.1%	34.4%	64.5%	63.4%	17.2%	20.4%	6.5%		
30歳代	154	57.1%	38.3%	64.3%	57.1%	11.7%	28.6%	9.7%		
40歳代	160	58.1%	34.4%	60.6%	61.3%	16.3%	20.0%	5.6%		
50歳代	173	56.1%	35.8%	51.4%	53.8%	16.8%	13.9%	5.2%		
60歳代	231	39.4%	35.1%	41.6%	62.8%	10.8%	15.2%	3.9%		
70歳代	148	30.4%	39.2%	30.4%	49.3%	3.4%	14.9%	4.7%		
80歳代	84	28.6%	34.5%	21.4%	47.6%	2.4%	13.1%	8.3%		
職業別										
会社員	317	61.8%	27.8%	56.2%	61.2%	14.5%	20.2%	5.0%		
自営業	85	41.2%	31.8%	38.8%	44.7%	11.8%	17.6%	4.7%		
農林漁業	14	57.1%	28.6%	35.7%	50.0%	7.1%	7.1%	7.1%		
公務員	61	55.7%	44.3%	55.7%	47.5%	18.0%	14.8%	11.5%		
学生	19	26.3%	36.8%	78.9%	57.9%	10.5%	10.5%	15.8%		
無職	380	36.3%	38.2%	39.2%	56.1%	6.6%	17.4%	5.5%		
その他	164	45.7%	47.0%	54.9%	63.4%	15.2%	18.3%	6.1%		
地区別										
東部	357	49.6%	34.7%	47.1%	57.1%	13.4%	20.2%	5.9%		
西部	103	43.7%	32.0%	46.6%	58.3%	8.7%	9.7%	8.7%		
中央	206	50.5%	34.5%	52.9%	57.3%	13.1%	19.4%	4.9%		
南部	170	42.9%	36.5%	41.2%	54.1%	10.6%	14.1%	7.1%		
北部	198	46.5%	42.9%	53.0%	59.6%	9.1%	20.7%	5.1%		

◆ 参考 ◆

○その他の内容

「その他」の条件	回答数
小さな子どもも参加できる	7
ネットなどを使って自宅でできる	7
参加することにより特典がある	5
地域や学校などの行事として行われる	4
その他	11

【「その他」の内容】

- ・交通の便がよいこと。
- ・参加することによる効果が、具体的に分かること。
- ・子どもや若者も興味を持つ内容であること。
- ・職場や施設に講師を派遣してもらえること。
- ・事前に十分告知されていること
- ・ゲーム感覚で楽しんで参加できること。
- ・実践につながるような内容であること。

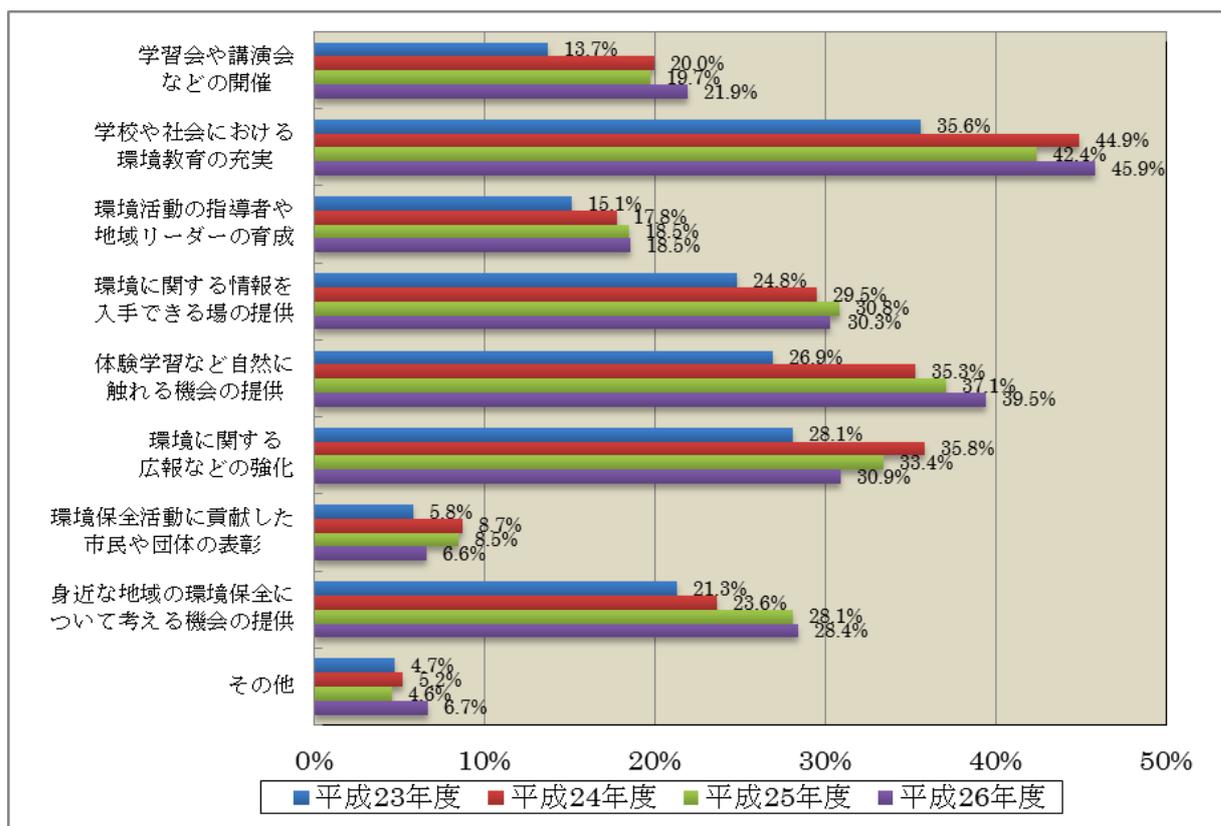
問5. 市民の環境保全意識を高めるために、市としてどのような取り組みを行えば効果的だと思いますか。(複数回答可)

【全体結果】

・「学校や社会における環境教育の充実」の割合が 45.9%と、最も高くなっている。次いで「体験学習など自然に触れる機会の提供」(39.5%)、「環境に関する広報などの強化」(30.9%)となっている。

【前回調査との比較】

前回調査と比較して、順位や割合に大きな変化は見られない。



【回答者の属性別にみた結果】

性別にみると、「環境に関する広報などの強化」の割合が、男性が 36.1%、女性が 27.4%と、男性が上回っている。「体験学習など自然に触れる機会の提供」の割合が、女性が 42.5%、男性が 35.8%と、女性が上回っている。

世代別にみると、30 歳代と 40 歳代では「学校や社会における環境教育の充実」の割合が、他の世代と比較して高くなっている。また、20 歳代から 40 歳代で「体験学習など自然に触れる機会の提供」の割合が、他の世代と比較して高くなっている。

■回答者の属性別にみた「市民の環境保全意識を高めるため、市としてどのような取り組みを行えば効果的だと思いますか。(複数回答可)」

	合計	学習会や講演会など	学校や社会における環境教育の充実	地域活動の指導者育成	環境活動の場を提供	環境に携わることができる情報の提供	体験学習など自然に触れる機会の提供	環境に関する広報	環境保全活動に貢献した市民や団体の表彰	身近な地域の環境保全について考える機会を提供	その他
全体	1,062	21.9%	45.9%	18.5%	30.3%	39.5%	30.9%	6.6%	28.4%	6.7%	
性別											
男性	429	24.0%	42.9%	21.7%	30.8%	35.7%	36.1%	7.2%	29.6%	9.3%	
女性	614	20.7%	48.2%	16.3%	30.1%	42.5%	27.4%	6.2%	26.7%	4.9%	
年代別											
20歳代	93	15.1%	44.1%	14.0%	34.4%	49.5%	28.0%	10.8%	24.7%	12.9%	
30歳代	154	16.9%	54.5%	8.4%	38.3%	53.9%	22.1%	6.5%	22.1%	6.5%	
40歳代	160	22.5%	61.9%	17.5%	36.3%	48.8%	31.3%	10.6%	21.3%	6.9%	
50歳代	173	27.7%	46.2%	17.9%	29.5%	37.0%	28.3%	6.9%	28.9%	5.8%	
60歳代	231	20.3%	41.6%	22.9%	30.7%	35.1%	36.8%	4.3%	32.9%	4.8%	
70歳代	148	27.7%	35.1%	24.3%	24.3%	28.4%	35.8%	3.4%	37.2%	7.4%	
80歳代	84	21.4%	33.3%	22.6%	11.9%	23.8%	31.0%	6.0%	22.6%	6.0%	
職業別											
会社員	317	23.0%	49.2%	17.0%	37.2%	41.0%	33.4%	6.9%	22.7%	7.3%	
自営業	85	15.3%	47.1%	21.2%	28.2%	41.2%	25.9%	8.2%	32.9%	7.1%	
農林漁業	14	35.7%	35.7%	21.4%	7.1%	21.4%	35.7%	14.3%	28.6%	7.1%	
公務員	61	16.4%	52.5%	18.0%	23.0%	44.3%	34.4%	8.2%	32.8%	8.2%	
学生	19	10.5%	47.4%	10.5%	15.8%	36.8%	15.8%	15.8%	21.1%	21.1%	
無職	380	24.2%	40.3%	19.7%	23.9%	34.5%	31.8%	5.0%	29.5%	5.5%	
その他	164	21.3%	50.6%	18.3%	40.2%	49.4%	27.4%	6.7%	30.5%	6.1%	
地区別											
東部	357	21.8%	47.1%	16.8%	28.9%	39.5%	28.6%	6.4%	22.7%	8.4%	
西部	103	13.6%	35.0%	20.4%	24.3%	38.8%	24.3%	6.8%	35.9%	5.8%	
中央	206	24.3%	50.0%	21.4%	37.4%	43.7%	40.3%	7.8%	31.1%	3.9%	
南部	170	20.0%	46.5%	16.5%	30.0%	37.1%	29.4%	5.9%	31.8%	7.1%	
北部	198	26.8%	46.5%	19.7%	29.8%	39.4%	30.8%	6.6%	27.8%	6.6%	

◆ 参考 ◆

○その他の内容

「その他」の市の取り組み	回答数
法律や条例の整備	2
気軽に参加できる講演会、イベント等の開催	3
市政だよりやマスコミを利用した広報	7
環境技術に対する助成	2
小学校や幼稚園での出前講座の開催	2
環境についての知識の提供	4
インターネットによる情報提供	2
その他	29

【「その他」の内容】

- ・環境保全の意識を楽しく高める工夫。
- ・ゴミ出しの指導。
- ・環境の日を設定し、地域や企業などと美化活動を行う。
- ・大学生、高校生に活動させて単位を与える。

- ・学校、職場での講演会の開催。
- ・企業等とタイアップしたイベント等の開催。
- ・先生方へのより積極的な働きかけ。
- ・ゴミの出し方・分別を徹底する。
- ・住民参加型のワークショップなど。
- ・判り易い文書にして家庭で勉強できるもの。
- ・時間を確保できるよう会社などに働きかける。
- ・節水したら、水道料金が割引される等の、市民に直接効果が感じられるような取り組み。
- ・学校での教育。
- ・企業を巻き込む。
- ・若い世代が関心を持つようにする(有名人・芸能人を起用など)。
- ・学習と実践行動を組み合わせた取り組みで仲間を作る仕組み。
- ・具体的な活動が見えないため、人が集まる場所に保全活動を見せる場を作る。

## 問6～12「まちづくりプロジェクト」について

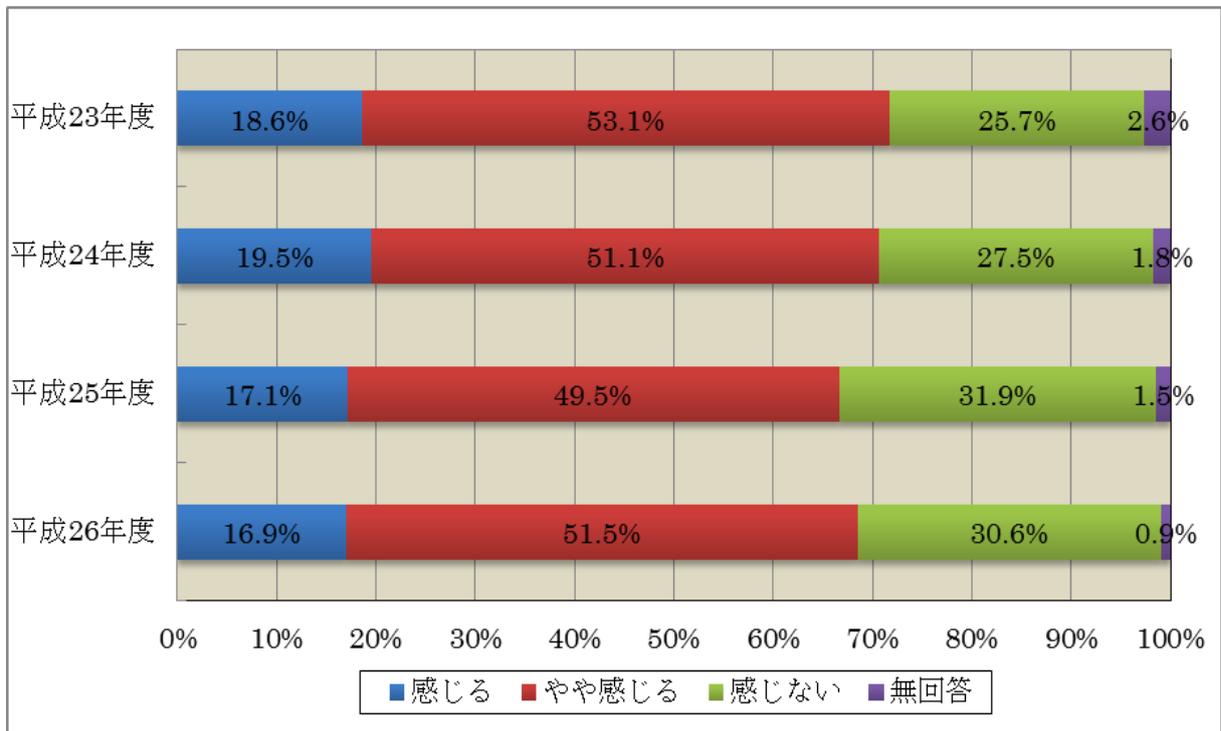
問6. 環境保全に関わるまちづくりの活動が増えてきたと感じますか。(1つだけ)

### 【全体結果】

「やや感じる」の割合が 51.5%と最も高く、次いで「感じない」が 30.6%、「感じる」が 16.9%となっている。

### 【前回調査との比較】

「やや感じる」と「感じる」の割合を合わせると 68.4%で、前回調査と比較すると 1.8ポイント増加している。



### 【回答者の属性別にみた結果】

年代別にみると、「やや感じる」と「感じる」を合わせた割合は、70歳代が 75.0%と最も高く、次いで 60歳代(73.6%)、40歳代(71.9%)となっている。

地区別にみると、「やや感じる」と「感じる」を合わせた割合は、南部が 73.6%と最も高く、次いで東部(68.0%)、中央(67.9%)となっている。

■回答者の属性別にみた「環境保全に関わるまちづくりの活動が増えてきたと感じますか。(1つだけ)」

	合計	感じる	やや感じる	感じない	無回答
全体	1,062	16.9%	51.5%	30.6%	0.9%
性別					
男性	429	17.0%	48.5%	34.3%	0.2%
女性	614	16.9%	53.4%	28.2%	1.5%
年代別					
20歳代	93	8.6%	49.5%	41.9%	0.0%
30歳代	154	7.1%	53.2%	39.6%	0.0%
40歳代	160	17.5%	54.4%	28.1%	0.0%
50歳代	173	11.6%	54.9%	33.5%	0.0%
60歳代	231	18.6%	55.0%	25.5%	0.9%
70歳代	148	27.7%	47.3%	23.6%	1.4%
80歳代	84	31.0%	34.5%	27.4%	7.1%
職業別					
会社員	317	11.4%	51.4%	36.9%	0.3%
自営業	85	15.3%	58.8%	25.9%	0.0%
農林漁業	14	7.1%	64.3%	28.6%	0.0%
公務員	61	21.3%	49.2%	29.5%	0.0%
学生	19	15.8%	47.4%	36.8%	0.0%
無職	380	20.8%	48.4%	28.9%	1.8%
その他	164	19.5%	55.5%	23.8%	1.2%
地区別					
東部	357	16.2%	51.8%	31.4%	0.6%
西部	103	21.4%	45.6%	31.1%	1.9%
中央	206	18.4%	49.5%	31.6%	0.5%
南部	170	16.5%	57.1%	24.1%	2.4%
北部	198	15.7%	50.0%	33.8%	0.5%

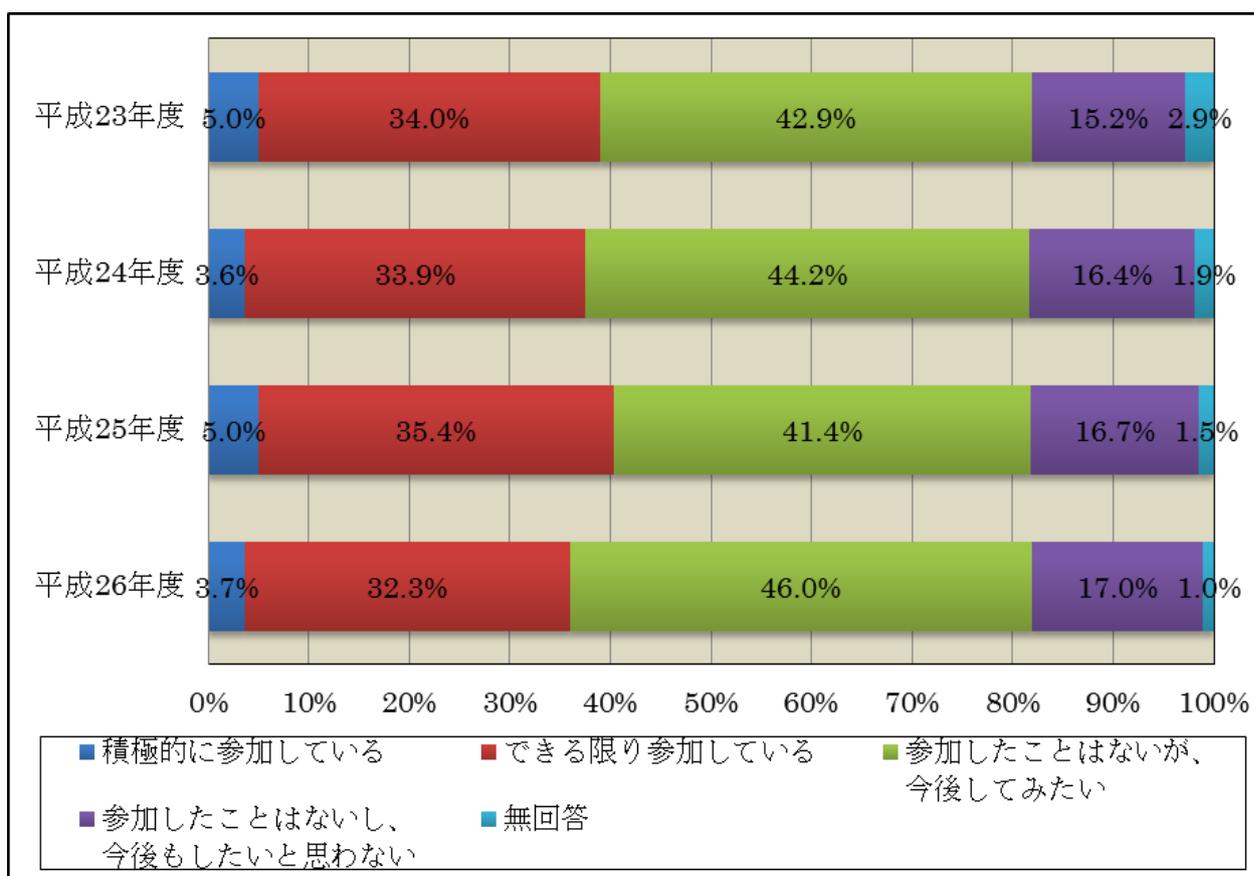
問7. 日頃、地域の環境保全活動に参加していますか。(1つだけ)

【全体結果】

・「参加したことはないが、今後してみたい」の割合が 46.0%と最も高く、次いで「できる限り参加している」(32.3%)、「参加したことはないし、今後もしたいと思わない」(17.0%)となっている。

【前回調査との比較】

「積極的に参加している」と「できる限り参加している」の割合を合わせると 36.0%で、前回調査と比較すると 4.4 ポイント減少している。



【回答者の属性別による結果】

年代別にみると、「積極的に参加している」と「できる限り参加している」を合わせた割合は、60歳代が 43.3%と最も高く、次いで 70歳代(43.2%)、50歳代(38.2%)となっている。また、20歳代では 18.3%、30歳代では 26.6%と、他の年代と比較すると低くなっている。

地区別にみると、東部と中央では「積極的に参加している」と「できる限り参加している」を合わせた割合は、それぞれ 31.1%、30.1%と、その他の地区と比較して 10%以上低くなっている。

■回答者の属性別にみた「日頃、地域の環境保全活動に参加していますか。(1 つだけ)」

	合計	積極的に参加している	できる限り参加している	参加した、または今後してみたい	参加したことはない、と思わない	無回答
全体	1,062	3.7%	32.3%	46.0%	17.0%	1.0%
<b>性別</b>						
男性	429	4.7%	30.3%	47.8%	17.0%	0.2%
女性	614	3.1%	33.4%	45.0%	16.9%	1.6%
<b>年代別</b>						
20歳代	93	0.0%	18.3%	54.8%	26.9%	0.0%
30歳代	154	3.2%	23.4%	53.9%	18.8%	0.6%
40歳代	160	2.5%	35.0%	51.9%	10.6%	0.0%
50歳代	173	2.9%	35.3%	49.1%	12.7%	0.0%
60歳代	231	5.6%	37.7%	43.7%	11.7%	1.3%
70歳代	148	5.4%	37.8%	36.5%	19.6%	0.7%
80歳代	84	4.8%	26.2%	28.6%	33.3%	7.1%
<b>職業別</b>						
会社員	317	1.9%	24.9%	53.9%	18.9%	0.3%
自営業	85	5.9%	37.6%	47.1%	9.4%	0.0%
農林漁業	14	7.1%	42.9%	42.9%	7.1%	0.0%
公務員	61	3.3%	37.7%	50.8%	8.2%	0.0%
学生	19	0.0%	26.3%	47.4%	26.3%	0.0%
無職	380	5.3%	35.0%	38.2%	19.5%	2.1%
その他	164	3.0%	34.1%	47.0%	14.6%	1.2%
<b>地区別</b>						
東部	357	2.0%	29.1%	51.0%	17.4%	0.6%
西部	103	3.9%	37.9%	38.8%	19.4%	0.0%
中央	206	7.3%	22.8%	51.5%	17.0%	1.5%
南部	170	2.9%	40.0%	38.8%	17.1%	1.2%
北部	198	4.0%	38.4%	41.9%	13.6%	2.0%

問7-1. 問7で「積極的に参加している」又は「できる限り参加している」と答えられた方にお尋ねします。

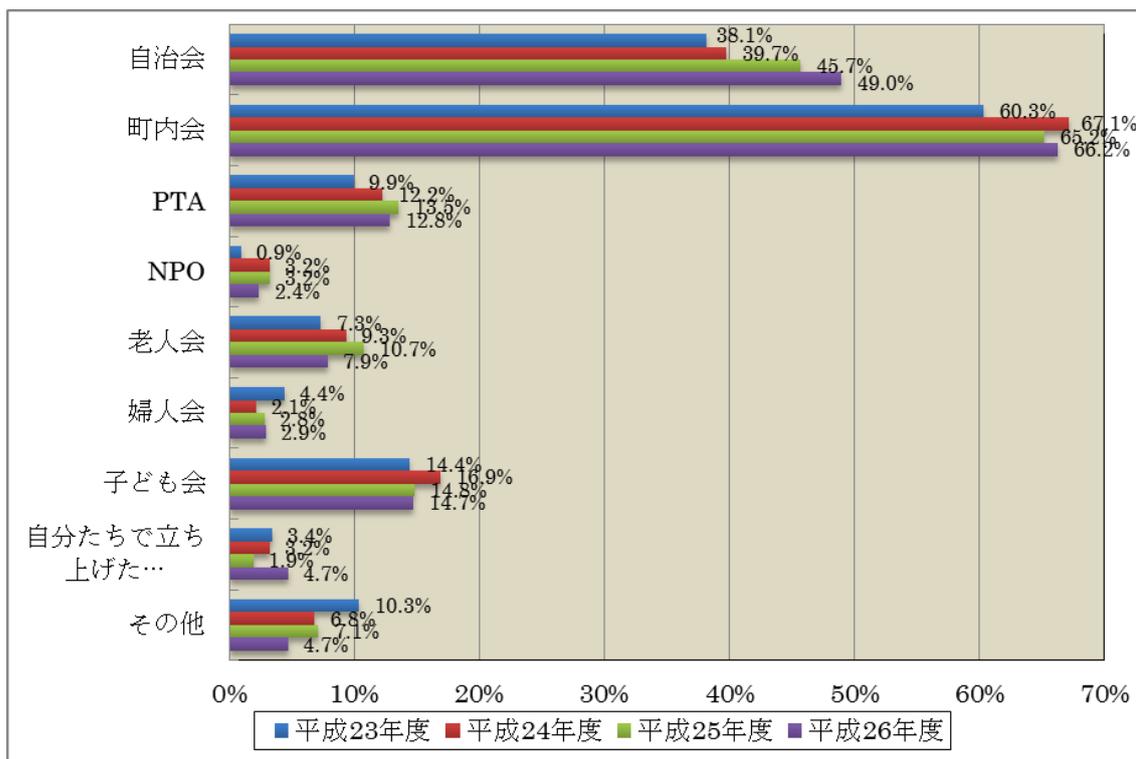
どのような団体の活動に参加していますか。(複数回答可)

**【全体結果】**

「町内会」の割合が 66.2%と最も高く、次いで「自治会」(49.0%)、「子ども会」(14.7%)となっている。

**【前回調査との比較】**

前回調査と比較して、順位・割合ともに大きな変化は見られない。



**【回答者の属性別にみた結果】**

性別にみると、「自治会」の割合が、男性が 56.7%、女性が 44.2%と、男性が上回っている。また、「子ども会」の割合が、女性が 17.9%、男性が 9.3%と、女性が上回っている。

年代別にみると、30歳代及び40歳代では、「PTA」及び「子ども会」の割合が他の年代と比較して高くなっている。

地区別にみると、中央では「町内会」の割合が 77.4%と、他の地区と比較して高くなっている。

■回答者の属性別にみた「問7で「積極的に参加している」又は「できる限り参加している」と回答した場合、どのような団体の活動に参加していますか。(複数回答可)」

	合計	自治会	町内会	P T A	N P O	老人会	婦人会	子ども会	自分たちで立ち上げ活動グループ	その他
全体	382	49.0%	66.2%	12.8%	2.4%	7.9%	2.9%	14.7%	4.7%	4.7%
性別										
男性	150	56.7%	62.7%	10.0%	4.0%	9.3%	0.0%	9.3%	4.0%	4.0%
女性	224	44.2%	67.9%	14.7%	1.3%	5.8%	4.5%	17.9%	5.4%	5.4%
年代別										
20歳代	17	11.8%	64.7%	11.8%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	11.8%	5.9%
30歳代	41	46.3%	58.5%	34.1%	7.3%	0.0%	2.4%	41.5%	4.9%	4.9%
40歳代	60	45.0%	75.0%	40.0%	3.3%	0.0%	0.0%	40.0%	1.7%	3.3%
50歳代	66	53.0%	69.7%	9.1%	1.5%	1.5%	3.0%	7.6%	1.5%	6.1%
60歳代	100	52.0%	65.0%	2.0%	1.0%	6.0%	3.0%	5.0%	9.0%	5.0%
70歳代	64	53.1%	68.8%	0.0%	1.6%	18.8%	4.7%	1.6%	3.1%	4.7%
80歳代	26	57.7%	42.3%	0.0%	3.8%	30.8%	3.8%	3.8%	3.8%	3.8%
職業別										
会社員	85	43.5%	67.1%	20.0%	2.4%	1.2%	0.0%	25.9%	4.7%	3.5%
自営業	37	54.1%	70.3%	5.4%	5.4%	2.7%	2.7%	0.0%	5.4%	2.7%
農林漁業	7	85.7%	42.9%	0.0%	0.0%	28.6%	14.3%	0.0%	14.3%	14.3%
公務員	25	56.0%	60.0%	36.0%	8.0%	0.0%	4.0%	12.0%	4.0%	8.0%
学生	5	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無職	153	49.7%	66.0%	2.6%	1.3%	13.1%	3.3%	8.5%	5.2%	5.2%
その他	61	50.8%	63.9%	24.6%	1.6%	4.9%	3.3%	26.2%	3.3%	4.9%
地区別										
東部	111	50.5%	67.6%	9.0%	2.7%	9.0%	1.8%	11.7%	4.5%	5.4%
西部	43	46.5%	58.1%	11.6%	7.0%	7.0%	2.3%	14.0%	7.0%	2.3%
中央	62	46.8%	77.4%	14.5%	3.2%	9.7%	4.8%	14.5%	4.8%	6.5%
南部	73	53.4%	60.3%	16.4%	0.0%	1.4%	2.7%	19.2%	4.1%	5.5%
北部	84	47.6%	63.1%	14.3%	1.2%	8.3%	2.4%	14.3%	4.8%	3.6%

◆ 参考 ◆

○その他の内容

「その他」の団体	回答数
職場	6
団地、マンションの活動	4
その他	4

【「その他」の内容】

- ・公民館での講演会
- ・消防団、水利組合
- ・老人会や障害者グループへの参加(缶、古新聞等)
- ・校区の清掃活動

問7-2. 問7で「積極的に参加している」又は「できる限り参加している」と答えられた方にお尋ねします。

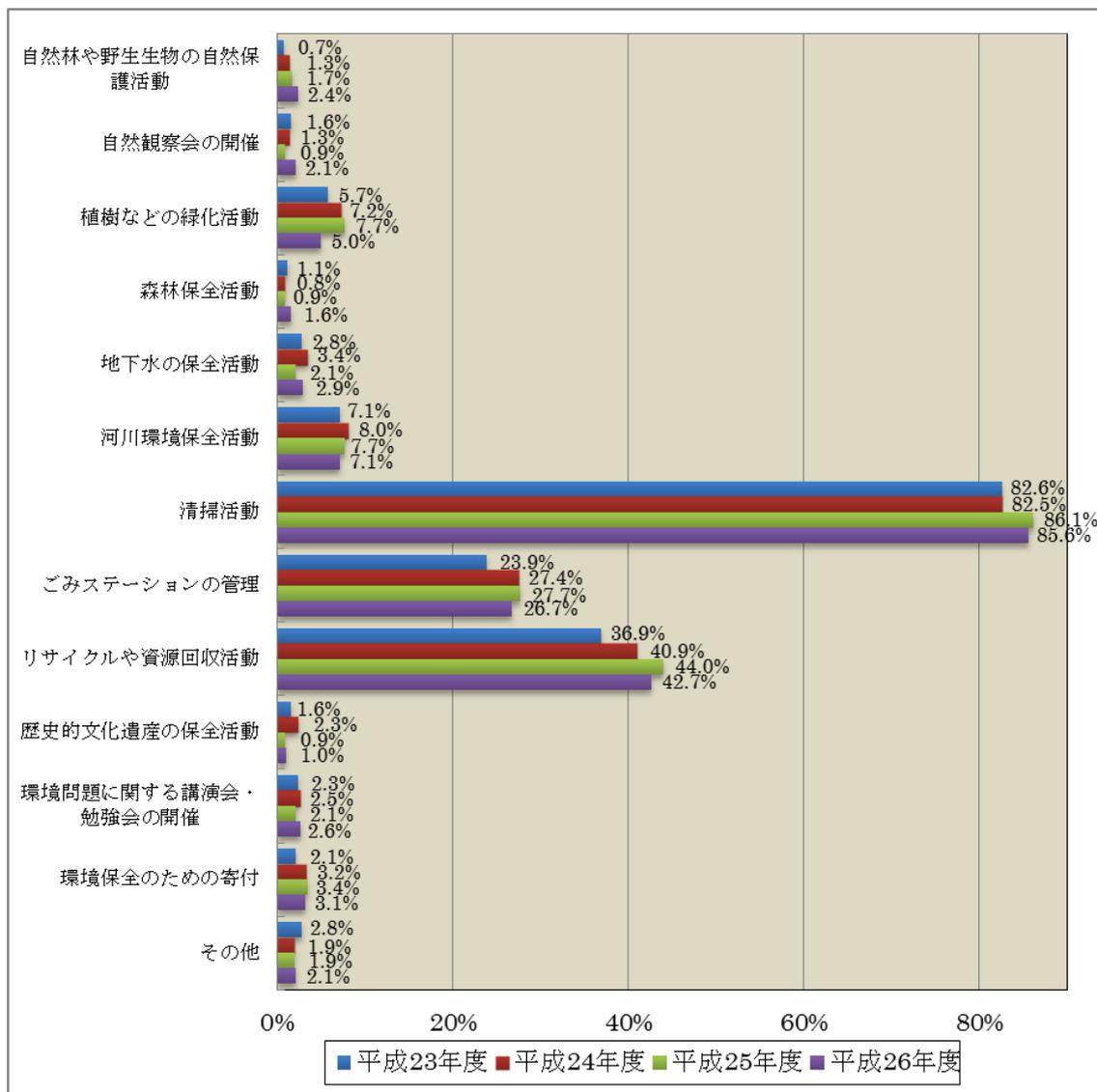
現在、地域においてどのような環境保全活動に参加していますか。(複数回答可)

**【全体結果】**

「清掃活動」の割合が 85.6%と最も高く、次いで「リサイクルや資源活動」(42.7%)、「ごみステーションの管理」(26.7%)となっている。

**【前回調査との比較】**

前回調査と比較して、順位・割合ともに大きな変化は見られない。



**【回答者の属性別にみた結果】**

性別にみると、「リサイクルや資源回収活動」の割合が、女性が 48.2%、男性が 34.7%と、女性が上回っている。

年代別にみると、30 歳代、40 歳代及び 60 歳代では「リサイクルや資源回収活

動」の割合が、他の年代と比較して高くなっている。

地区別にみると、北部では「リサイクルや資源回収活動」の割合が 53.6%と、他の地区と比較して高くなっている。

■回答者の属性別にみた「問7で「積極的に参加している」又は「できる限り参加している」と回答した場合、現在、地域においてどのような環境保全活動に参加していますか。(複数回答可)」

	合計	の自然林や野生生物の自然保護活動	自然観察会の開催	動植樹などの緑化活動	森林保全活動	地下水の保全活動	河川環境保全活動	清掃活動	ごみステーションの管理	回収活動 リサイクルや資源	歴史的文化的遺産の保全活動	講演会・勉強会の開催	環境問題に関する	寄付 環境保全のための	その他
全体	382	2.4%	2.1%	5.0%	1.6%	2.9%	7.1%	85.6%	26.7%	42.7%	1.0%	2.6%	3.1%	2.1%	
性別															
男性	150	4.0%	2.7%	7.3%	3.3%	5.3%	9.3%	83.3%	26.7%	34.7%	0.7%	2.7%	2.0%	2.7%	
女性	224	1.3%	1.8%	3.6%	0.4%	1.3%	5.4%	87.1%	26.8%	48.2%	1.3%	2.7%	4.0%	1.8%	
年代別															
20歳代	17	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	88.2%	5.9%	17.6%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	
30歳代	41	0.0%	0.0%	7.3%	0.0%	4.9%	7.3%	92.7%	29.3%	53.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
40歳代	60	6.7%	5.0%	3.3%	3.3%	5.0%	5.0%	91.7%	18.3%	50.0%	1.7%	3.3%	3.3%	1.7%	
50歳代	66	0.0%	0.0%	3.0%	1.5%	3.0%	9.1%	89.4%	33.3%	33.3%	1.5%	1.5%	6.1%	1.5%	
60歳代	100	1.0%	2.0%	7.0%	0.0%	1.0%	8.0%	89.0%	31.0%	50.0%	1.0%	2.0%	3.0%	2.0%	
70歳代	64	3.1%	0.0%	6.3%	4.7%	4.7%	6.3%	73.4%	21.9%	35.9%	0.0%	3.1%	1.6%	4.7%	
80歳代	26	7.7%	11.5%	3.8%	0.0%	0.0%	3.8%	65.4%	34.6%	38.5%	3.8%	11.5%	7.7%	0.0%	
職業別															
会社員	85	2.4%	1.2%	7.1%	2.4%	5.9%	5.9%	87.1%	23.5%	47.1%	1.2%	1.2%	1.2%	1.2%	
自営業	37	2.7%	0.0%	10.8%	0.0%	0.0%	16.2%	86.5%	29.7%	43.2%	2.7%	5.4%	2.7%	2.7%	
農林漁業	7	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	28.6%	85.7%	28.6%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	
公務員	25	8.0%	4.0%	4.0%	4.0%	4.0%	16.0%	100.0%	24.0%	36.0%	0.0%	0.0%	8.0%	0.0%	
学生	5	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	80.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
無職	153	2.6%	3.9%	3.3%	2.0%	2.0%	3.9%	81.0%	29.4%	41.2%	1.3%	4.6%	5.2%	2.6%	
その他	61	0.0%	0.0%	4.9%	0.0%	1.6%	4.9%	90.2%	24.6%	45.9%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	
地区別															
東部	111	2.7%	0.9%	3.6%	2.7%	3.6%	7.2%	84.7%	34.2%	32.4%	1.8%	4.5%	1.8%	4.5%	
西部	43	0.0%	4.7%	7.0%	0.0%	2.3%	9.3%	93.0%	25.6%	41.9%	0.0%	2.3%	2.3%	0.0%	
中央	62	8.1%	8.1%	9.7%	1.6%	4.8%	8.1%	80.6%	16.1%	45.2%	3.2%	6.5%	9.7%	1.6%	
南部	73	1.4%	0.0%	1.4%	1.4%	1.4%	5.5%	84.9%	31.5%	45.2%	0.0%	0.0%	1.4%	1.4%	
北部	84	0.0%	0.0%	6.0%	1.2%	2.4%	6.0%	86.9%	21.4%	53.6%	0.0%	0.0%	2.4%	1.2%	

◆ 参考 ◆

○その他の内容

- ・海の汚染に関する一部処理の手伝い。
- ・自宅周辺の清掃活動。
- ・河川の清掃活動を中心に行っている。
- ・水路清掃、水管理。
- ・ハザードマップの作成。

問7-3. 問7で「参加したことはないが、今後してみたい」と答えられた方にお尋ねします。

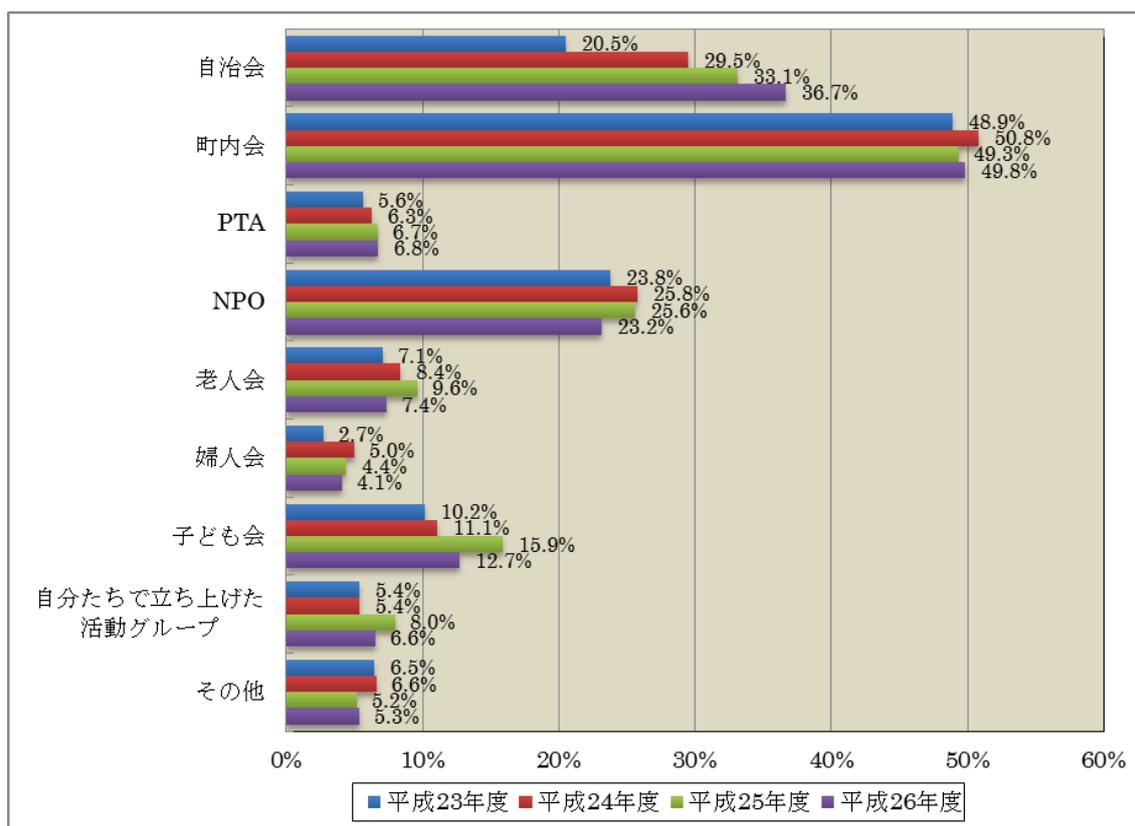
どのような団体の活動に参加してみたいですか。(複数回答可)

**【全体結果】**

「町内会」の割合が 49.8%と最も高く、次いで「自治会」(36.7%)、「NPO」(23.2%)となっている。

**【前回調査との比較】**

前回調査と比較して、順位・割合ともに大きな変化は見られない。



**【回答者の属性別にみた結果】**

性別にみると、「自治会」の割合が、男性が 42.4%、女性が 33.0%と、男性が上回っている。

年代別では、20歳代では「NPO」の割合が 45.1%と、他の年代と比較して高くなっている。また、20歳代と30歳代では「子ども会」の割合がそれぞれ 27.5%、36.1%と、他の年代と比較して高くなっている。

地区別にみると、中央では「自治会」の割合が 46.2%と、他の地区と比較して高くなっている。

■回答者の属性別にみた問7で「参加したことはないが、今後してみたい」と回答した場合、どのような団体の活動に参加してみたいですか。(複数回答可)

	合計	自治会	町内会	P T A	N P O	老人会	婦人会	子ども会	自分たちが立ち上げた活動グループ	その他
全体	488	36.7%	49.8%	6.8%	23.2%	7.4%	4.1%	12.7%	6.6%	5.3%
性別										
男性	205	42.4%	52.2%	4.9%	26.3%	12.2%	1.0%	10.2%	6.8%	4.4%
女性	276	33.0%	48.6%	8.3%	20.7%	3.6%	6.5%	14.9%	6.2%	5.8%
年代別										
20歳代	51	41.2%	43.1%	3.9%	45.1%	0.0%	0.0%	27.5%	15.7%	2.0%
30歳代	83	36.1%	54.2%	16.9%	20.5%	0.0%	6.0%	36.1%	2.4%	2.4%
40歳代	83	31.3%	41.0%	15.7%	22.9%	2.4%	2.4%	14.5%	9.6%	15.7%
50歳代	85	29.4%	45.9%	4.7%	31.8%	1.2%	9.4%	3.5%	8.2%	2.4%
60歳代	101	42.6%	59.4%	0.0%	15.8%	10.9%	3.0%	2.0%	5.0%	5.0%
70歳代	54	42.6%	53.7%	0.0%	16.7%	22.2%	1.9%	1.9%	0.0%	1.9%
80歳代	24	41.7%	50.0%	0.0%	0.0%	37.5%	4.2%	0.0%	4.2%	4.2%
職業別										
会社員	171	37.4%	49.1%	8.2%	31.0%	2.3%	4.1%	14.0%	7.6%	5.8%
自営業	40	37.5%	52.5%	2.5%	20.0%	7.5%	5.0%	5.0%	7.5%	2.5%
農林漁業	6	66.7%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%
公務員	31	29.0%	45.2%	9.7%	22.6%	0.0%	3.2%	19.4%	16.1%	9.7%
学生	9	44.4%	44.4%	22.2%	66.7%	0.0%	0.0%	22.2%	11.1%	0.0%
無職	145	35.9%	51.0%	6.2%	13.8%	16.6%	4.1%	10.3%	2.1%	3.4%
その他	77	37.7%	51.9%	5.2%	19.5%	5.2%	5.2%	15.6%	6.5%	6.5%
地区別										
東部	182	36.8%	51.1%	7.1%	25.8%	8.2%	3.8%	13.7%	7.1%	5.5%
西部	40	20.0%	45.0%	5.0%	15.0%	2.5%	7.5%	12.5%	12.5%	10.0%
中央	106	46.2%	48.1%	7.5%	27.4%	6.6%	2.8%	9.4%	3.8%	3.8%
南部	66	39.4%	50.0%	9.1%	21.2%	4.5%	1.5%	12.1%	6.1%	4.5%
北部	83	32.5%	51.8%	4.8%	16.9%	10.8%	6.0%	16.9%	6.0%	4.8%

◆ 参考 ◆

○その他の内容

「その他」の団体	回答数
市、行政	3
企業	4
職場	4
個人で取り組みたい	2
その他	5

【「その他」の内容】

- ・参加者が限定されないよう、新たな組織が必要では。(コーディネーター的な人材を数名育成し、地域全体で取り組むなど)
- ・他の方が立ち上げた活動グループ
- ・動物が大好きな人たち
- ・民間の講演会や勉強会
- ・目的が明確な団体

問7-4. 問7で「参加したことはないが、今後してみたい」と答えられた方にお尋ねします。

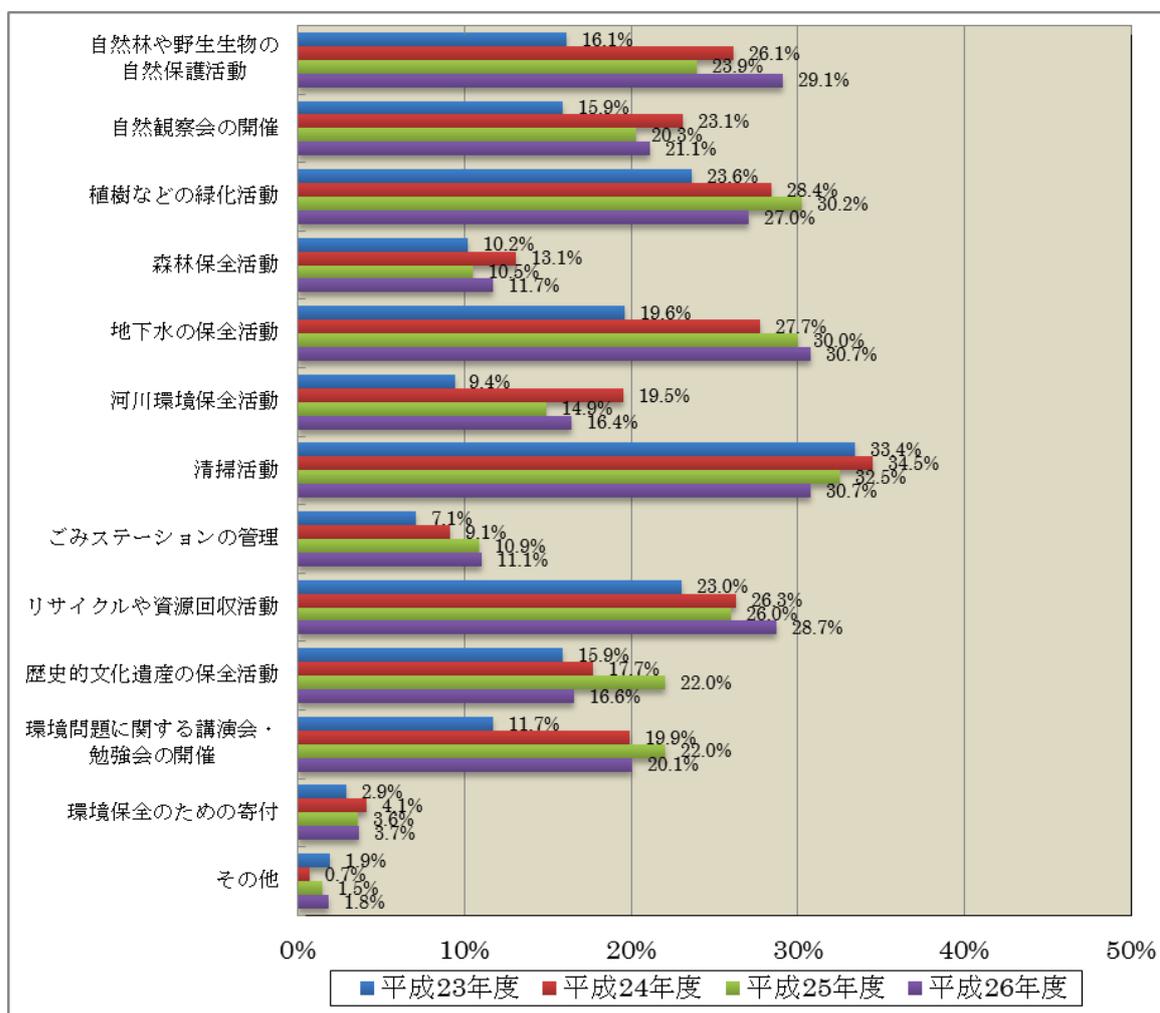
今後、どのような環境保全活動に参加してみたいですか。(複数回答可)

【全体結果】

「地下水の保全活動」及び「清掃活動」が 30.7%と最も高くなっており、次いで「自然林や野生生物の自然保護活動」(29.1%)、「リサイクルや資源回収活動」(28.7%)となっている。

【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、「自然林や野生生物の自然保護活動」の割合が 5.3 ポイント増加しており、順位も 5 位から 2 位に上がっている。



【回答者の属性別にみた結果】

性別にみると、「地下水の保全活動」の割合が、男性が 40.5%、女性が 24.3%と、男性が上回っている。また、「河川環境保全活動」の割合が、男性が 24.4%、女性が 10.5%と、男性が上回っている。

年代別にみると、20 歳代では「自然林や野生生物の自然保護活動」の割合が 45.1%と、他の年代と比較して高くなっている。

30歳代では「自然観察会の開催」の割合が31.3%と、他の年代と比較して高くなっている。また、20歳代及び30歳代で「植樹などの緑化活動」の割合が、それぞれ37.3%、43.4%と、他の年代と比較して高くなっている。

60歳代では「河川環境保全活動」の割合が26.7%と、他の年代と比較して高くなっている。また、70歳代では「環境問題に関する講演会・勉強会の開催」が35.2%と、他の年代と比較して高くなっている。

地区別にみると、西部では「清掃活動」(37.5%)及び「ごみステーションの管理」(20.0%)の割合が、他の地区と比較して高くなっている。

中央では「植樹などの緑化活動」(31.1%)、「地下水の保全活動」(40.6%)及び「歴史的文化遺産の保全活動」(20.8%)の割合が、他の地区と比較して高くなっている。

南部では「自然観察会の開催」(31.8%)及び「歴史的文化遺産の保全活動」(24.2%)の割合が、他の地区と比較して高くなっている。

北部では「植樹などの緑化活動」(32.5%)の割合が他の地区と比較して高くなっている。

■回答者の属性別にみた「問7で「参加したことはないが、今後してみたい」と回答した場合、今後、どのような環境保全活動に参加してみたいですか。(複数回答可)」

	合計	自然林や野生生物の自然保護活動	自然観察会の開催	植樹などの緑化活動	森林保全活動	地下水の保全活動	河川環境保全活動	清掃活動	ごみステーションの管理	リサイクルや資源回収活動	歴史的文化遺産の保全活動	講演会・勉強会に関する環境問題への参加	環境保全のための寄付	その他
全体	488	29.1%	21.1%	27.0%	11.7%	30.7%	16.4%	30.7%	11.1%	28.7%	16.6%	20.1%	3.7%	1.8%
性別														
男性	205	34.6%	20.5%	26.3%	14.1%	40.5%	24.4%	29.8%	8.8%	26.8%	16.1%	23.9%	2.4%	3.9%
女性	276	24.3%	21.7%	27.5%	9.8%	24.3%	10.5%	32.2%	12.7%	30.1%	16.7%	17.8%	4.7%	0.4%
年代別														
20歳代	51	45.1%	19.6%	37.3%	9.8%	19.6%	11.8%	39.2%	3.9%	25.5%	25.5%	15.7%	3.9%	3.9%
30歳代	83	37.3%	31.3%	43.4%	10.8%	30.1%	14.5%	39.8%	7.2%	30.1%	18.1%	13.3%	2.4%	0.0%
40歳代	83	20.5%	21.7%	27.7%	14.5%	31.3%	12.0%	32.5%	12.0%	28.9%	19.3%	24.1%	8.4%	2.4%
50歳代	85	22.4%	21.2%	18.8%	12.9%	34.1%	16.5%	28.2%	16.5%	30.6%	18.8%	24.7%	3.5%	2.4%
60歳代	101	33.7%	15.8%	24.8%	10.9%	32.7%	26.7%	28.7%	10.9%	23.8%	13.9%	16.8%	3.0%	1.0%
70歳代	54	22.2%	16.7%	18.5%	13.0%	35.2%	16.7%	18.5%	11.1%	38.9%	3.7%	35.2%	0.0%	1.9%
80歳代	24	8.3%	20.8%	4.2%	4.2%	33.3%	4.2%	29.2%	16.7%	20.8%	12.5%	8.3%	4.2%	4.2%
職業別														
会社員	171	31.0%	22.8%	33.9%	15.8%	34.5%	17.0%	33.3%	11.7%	27.5%	20.5%	17.5%	4.1%	1.2%
自営業	40	30.0%	10.0%	17.5%	12.5%	32.5%	22.5%	27.5%	12.5%	30.0%	20.0%	17.5%	2.5%	5.0%
農林漁業	6	16.7%	0.0%	33.3%	0.0%	66.7%	16.7%	50.0%	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%
公務員	31	25.8%	22.6%	38.7%	9.7%	29.0%	25.8%	38.7%	6.5%	19.4%	9.7%	35.5%	6.5%	0.0%
学生	9	44.4%	11.1%	22.2%	33.3%	33.3%	22.2%	44.4%	0.0%	22.2%	11.1%	22.2%	0.0%	11.1%
無職	145	22.8%	22.1%	20.7%	6.9%	29.0%	12.4%	26.2%	11.7%	30.3%	11.7%	22.8%	3.4%	1.4%
その他	77	33.8%	24.7%	24.7%	10.4%	26.0%	15.6%	32.5%	11.7%	32.5%	18.2%	18.2%	3.9%	2.6%
地区別														
東部	182	27.5%	20.9%	25.3%	13.2%	33.0%	18.1%	29.1%	11.0%	31.3%	13.7%	17.6%	3.3%	1.6%
西部	40	27.5%	10.0%	25.0%	2.5%	27.5%	20.0%	37.5%	20.0%	30.0%	12.5%	12.5%	2.5%	0.0%
中央	106	32.1%	17.0%	31.1%	17.9%	40.6%	17.9%	31.1%	9.4%	25.5%	20.8%	25.5%	3.8%	0.9%
南部	66	22.7%	31.8%	18.2%	9.1%	21.2%	16.7%	31.8%	10.6%	28.8%	24.2%	19.7%	3.0%	3.0%
北部	83	33.7%	24.1%	32.5%	7.2%	25.3%	8.4%	31.3%	8.4%	26.5%	12.0%	24.1%	6.0%	3.6%

◆ 参考 ◆

○その他の内容

- ・公共交通のシステムの更新。
- ・レジャー等による、魚の乱獲を考える活動。
- ・30分～1時間講演会＋実働2時間などのセット。
- ・熊本市内の目に付くところが雑草でいっぱいになっているのが現状なので改善できる取り組みなら何にでも。

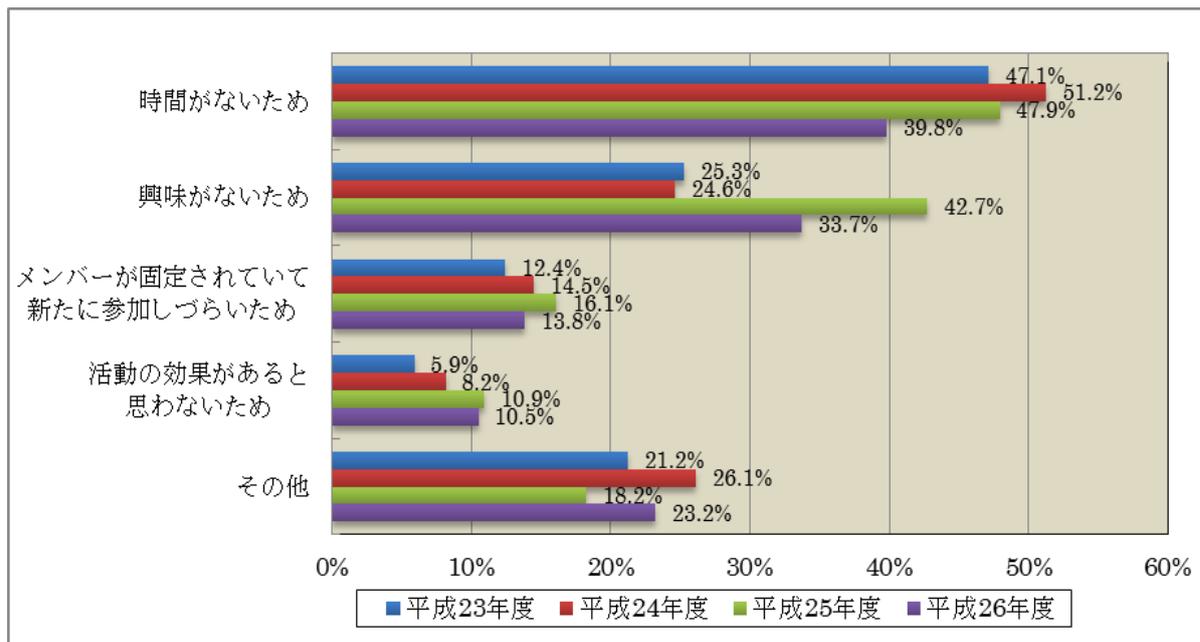
問7ー5. 問7で「参加したことはないし、今後もしたいと思わない」と答えられた方にお尋ねします。

参加したいと思わない理由は何ですか。(複数回答可)

【全体結果】

「時間がないため」の割合が39.8%と最も高く、次いで「興味がないため」(33.7%)、「その他」(23.2%)となっている。

・前回調査と比較すると、「時間がないため」が 8.1 ポイント、「興味がないため」が 9.0 ポイント減少している。



【回答者の属性別にみた結果】

性別にみると、「時間がないため」の割合が、男性が47.9%、女性が35.6%と、男性が上回っている。

年代別にみると、20歳代から50歳代で「時間がないため」の割合が高くなっているが、特に40歳代で76.5%と、他の年代と比較して高くなっている。40歳代ではさらに「メンバーが固定されていて新たに参加しづらいため」(41.2%)の割合が、他の年代と比較して高くなっている。

20歳代、30歳代及び60歳代では「興味がないため」の割合が他の年代と比較して高くなっている。

■回答者の属性別にみた「問7で「参加したことはないし、今後もしたいと思わない」と回答した場合、参加したいと思わない理由は何ですか。(複数回答可)」

	合計	時間が ないため	興味 がない ため	メン バーが 固定さ れてい て新た に参 加しづ らいた め	活 動の 効果 があ る と思 わな いた め	そ の 他
全体	181	39.8%	33.7%	13.8%	10.5%	23.2%
性別						
男性	73	47.9%	34.2%	12.3%	11.0%	19.2%
女性	104	35.6%	33.7%	15.4%	10.6%	26.0%
年代別						
20歳代	25	60.0%	52.0%	20.0%	16.0%	8.0%
30歳代	29	58.6%	44.8%	10.3%	13.8%	17.2%
40歳代	17	76.5%	35.3%	41.2%	17.6%	5.9%
50歳代	22	54.5%	36.4%	13.6%	4.5%	4.5%
60歳代	27	33.3%	44.4%	11.1%	7.4%	14.8%
70歳代	29	17.2%	6.9%	10.3%	10.3%	48.3%
80歳代	28	3.6%	21.4%	3.6%	7.1%	50.0%
職業別						
会社員	60	76.7%	38.3%	10.0%	10.0%	8.3%
自営業	8	50.0%	37.5%	0.0%	0.0%	25.0%
農林漁業	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
公務員	5	20.0%	40.0%	40.0%	0.0%	20.0%
学生	5	20.0%	80.0%	40.0%	40.0%	0.0%
無職	74	14.9%	25.7%	14.9%	8.1%	32.4%
その他	24	37.5%	37.5%	16.7%	20.8%	37.5%
地区別						
東部	62	46.8%	37.1%	16.1%	8.1%	16.1%
西部	20	25.0%	30.0%	15.0%	20.0%	25.0%
中央	35	42.9%	37.1%	14.3%	11.4%	28.6%
南部	29	41.4%	37.9%	13.8%	6.9%	24.1%
北部	27	40.7%	22.2%	11.1%	11.1%	25.9%

◆ 参考 ◆

○「その他」の内容

「その他」の参加したいと思わない理由	回答数
身体的理由(体が不自由、など)	16
高齢のため	12
参加する意義を感じないため	3
参加しづらさを感じるため(地域になじんでいない、など)	4
その他	8

【「その他」の内容】

- ・縛られ感があり疲れそうだから。
- ・自由の参加があまり感じられない。
- ・いろいろな機会・やり方を提案する必要がある。
- ・自分の生活で精一杯のため。
- ・個人としてできることは日常生活で実践しているため。
- ・環境保全活動の具体的な内容が不明のため
- ・人間が集まらないため。
- ・仕事があるため。

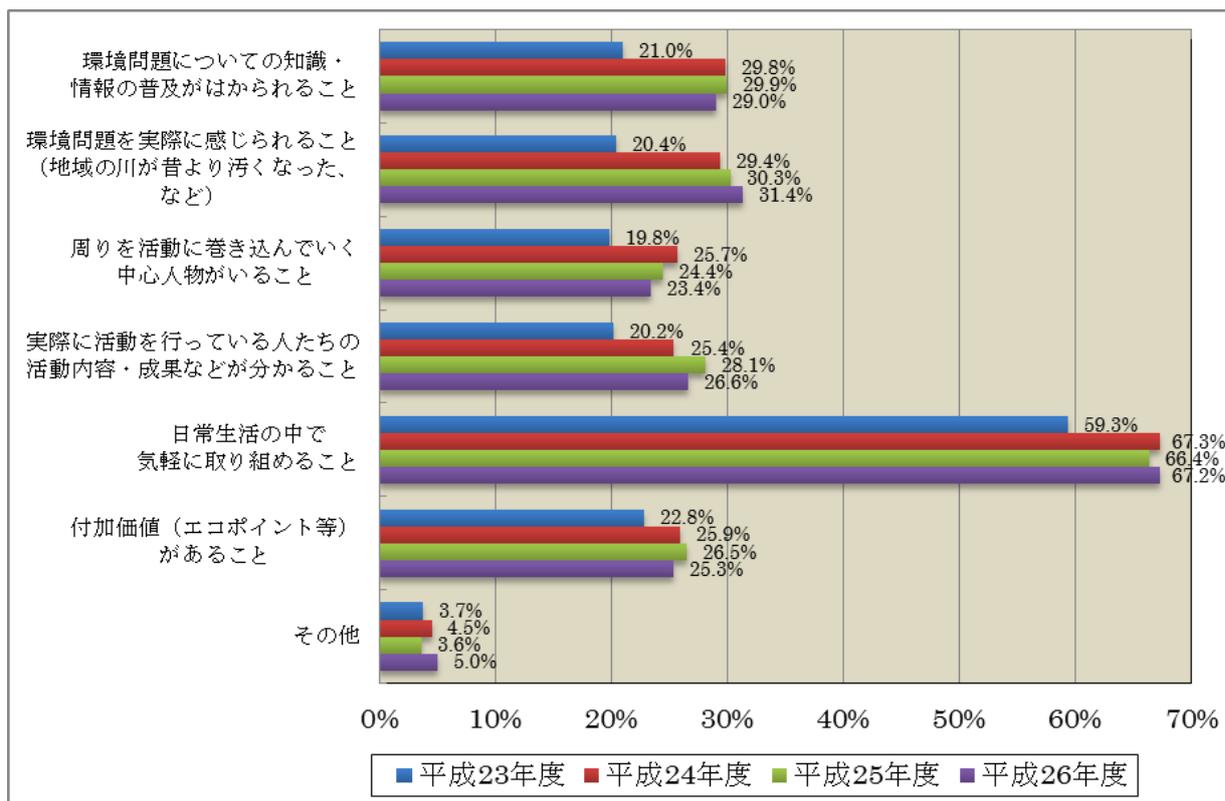
問8. どのような条件が整えば、より多くの人まちづくりとしての環境保全活動に関わるようになると思いますか。(複数回答可)

【全体結果】

「日常生活の中で気軽に取り組めること」の割合が 67.2%と最も高く、次いで「環境問題を実際に感じられること(地域の川が昔より汚くなった、など)」(31.4%)、「環境問題についての知識・情報の普及がはかれること」(29.0%)となっている。

【前回調査との比較】

前回調査と比較して、順位・割合ともに大きな変化は見られない。



【回答者の属性別にみた結果】

性別にみると、「環境問題についての知識・情報の普及がはかれること」の割合が、男性が 32.9%、女性が 26.5%と、男性が上回っている。

また「日常生活の中で気軽に取り組めること」の割合が、女性が 70.0%、男性が 63.4%と、女性が上回っている。また「付加価値(エコポイント等)があること」の割合が、女性が 27.9%、男性が 21.9%と、女性が上回っている。

年代別にみると、20 歳代では「環境問題を実際に感じられること(地域の川が昔より汚くなった、など)」の割合が 48.4%と、他の年代と比較して高くなっている。

「付加価値(エコポイント等)があること」の割合は、年代が若いほど高くなっている。

■回答者の属性別にみた「どのような条件が整えば、より多くの人まちづくりとしての環境保全活動に関わるようになると思いますか。(複数回答可)」

	合計	と及の環 が知境 は識問 か・題 ら情に れ報つ るのい こ普て	どりへ感 汚地じ く域ら問 な川る つたがこ 、昔と なよに	物込周 がんに いでを るい活 こく動 と中 心巻 人き	が動て実 分内い際 か容るに る・人活 こ成た動 と果ちを な行 ど活つ	と軽日 に常 取生 り活 組の め中 で こ気	こイ付 とン加 ト価 等値 )( がエ あコ るポ	その他
全体	1,062	29.0%	31.4%	23.4%	26.6%	67.2%	25.3%	5.0%
性別								
男性	429	32.9%	31.2%	23.8%	27.0%	63.4%	21.9%	7.0%
女性	614	26.5%	31.8%	23.6%	26.4%	70.0%	27.9%	3.7%
年代別								
20歳代	93	18.3%	48.4%	24.7%	30.1%	69.9%	49.5%	4.3%
30歳代	154	29.9%	32.5%	22.7%	32.5%	69.5%	41.6%	3.9%
40歳代	160	29.4%	38.1%	25.0%	32.5%	71.9%	40.6%	2.5%
50歳代	173	28.3%	31.8%	19.1%	32.4%	65.9%	28.9%	5.2%
60歳代	231	29.4%	31.6%	26.0%	25.5%	72.3%	9.5%	6.5%
70歳代	148	35.8%	20.9%	25.0%	16.9%	61.5%	8.8%	6.1%
80歳代	84	28.6%	16.7%	22.6%	9.5%	51.2%	6.0%	7.1%
職業別								
会社員	317	27.4%	35.3%	22.4%	28.4%	67.8%	35.3%	5.0%
自営業	85	30.6%	25.9%	30.6%	24.7%	58.8%	17.6%	2.4%
農林漁業	14	21.4%	14.3%	28.6%	14.3%	50.0%	14.3%	7.1%
公務員	61	16.4%	37.7%	32.8%	39.3%	72.1%	29.5%	4.9%
学生	19	26.3%	36.8%	26.3%	31.6%	68.4%	47.4%	5.3%
無職	380	29.2%	26.8%	21.8%	22.4%	66.3%	15.0%	5.8%
その他	164	37.8%	37.2%	23.2%	29.9%	73.2%	31.1%	4.9%
地域別								
東部	357	28.9%	31.9%	23.2%	25.2%	65.8%	23.2%	3.9%
西部	103	28.2%	35.0%	20.4%	29.1%	61.2%	21.4%	4.9%
中央	206	30.1%	29.6%	25.2%	32.0%	72.3%	30.6%	3.9%
南部	170	26.5%	32.4%	25.3%	22.9%	65.9%	22.9%	7.1%
北部	198	31.8%	31.8%	23.7%	25.8%	70.7%	28.8%	7.1%

◆ 参考 ◆

○その他の内容

「その他」の条件	回答数
個人の意識の向上	3
法律や条例などによる強制力	2
活動の成果の広報	5
テレビや新聞を使った情報発信	2
特典があること	2
環境問題とその影響についての知識の普及	2
その他	22

【「その他」の内容】

- ・若い方で自分の意見が言える方。
- ・特定の団体や個人に益する活動とならないこと。
- ・一人でも気軽に参加できる。

- ・保育園、小学校、中学校等の行事で環境保全活動をする。
- ・自己の考え方次第。
- ・不必要な公共工事などなくして、新エネルギー開発や、空き家の貸し出しに、市が参加する事。
- ・阿蘇のダムの問題を市民レベルで情報を発信するようにしてもらいたい。
- ・完全週休2日制。
- ・子どもを預けることができる。
- ・メンバーや中心人物が強くて参加しづらい時がある。
- ・地域の方々が毎日楽しみとしてできるような活動にすれば、より参加者が増えると思う
- ・住民が取り組みやすいような具体的な提案をする。
- ・金銭(資金)面での援助。
- ・仕事を休んでまでの活動参加は難しい方が多いと思うので、地域の企業も含めて意識させること。働く世代の男性の意識改革。
- ・法人、個人含めて実行している内容の調査及びアンケート。
- ・定期的に活動日を決め、定着させる習慣をつける。
- ・ゴミの分別を徹底すること。
- ・雨水の利用やゴミの減少。
- ・行政の指導。
- ・子供の頃からの教育
- ・親が子どもに教えて、率先して親がやる。

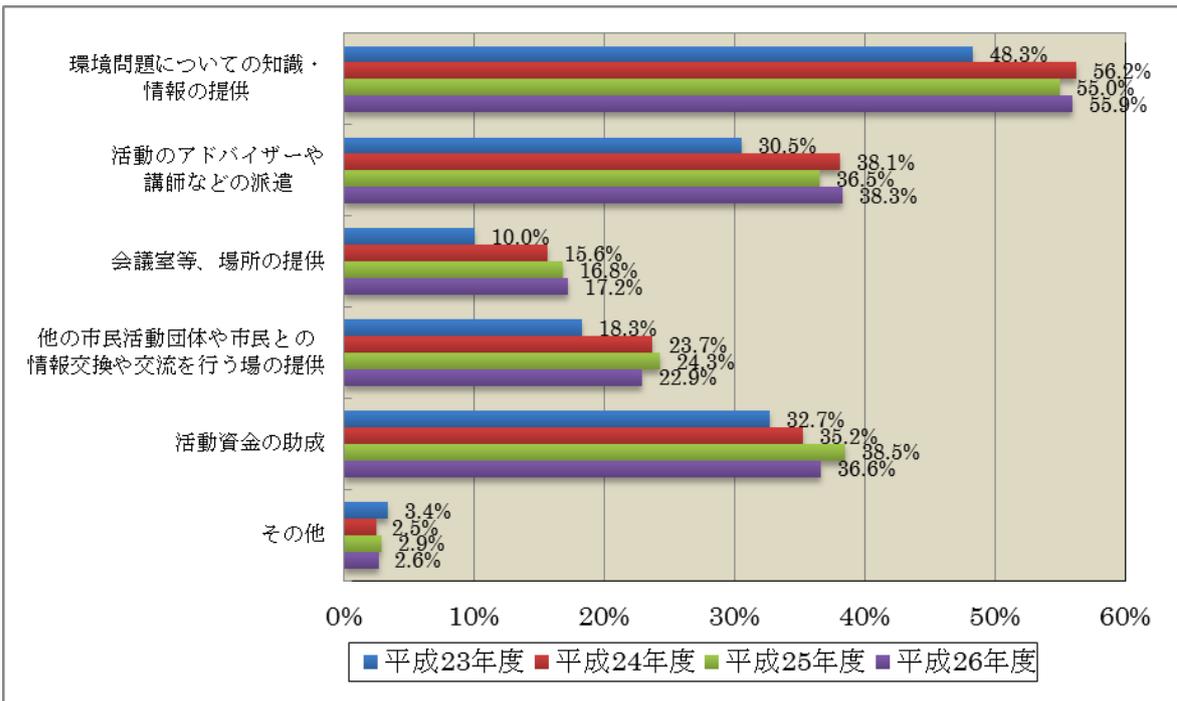
問9. 地域で市民活動団体や市民が環境保全活動を行う際、どのような支援が必要だと思いますか。(複数回答可)

【全体結果】

「環境問題についての知識・情報の提供」の割合が 55.9%と最も高く、次いで「活動のアドバイザーや講師などの派遣」(38.3%)、「活動資金の助成」(36.6%)となっている。

【前回調査との比較】

前回調査と比較して、順位・割合ともに大きな変化は見られない。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別にみると、20 歳代では「会議室等、場所の提供」の割合が 28.0%と、他の年代と比較して高くなっている。また、60 歳代では「環境問題についての知識・情報の提供」の割合が 66.7%と、他の年代と比較して高くなっている。

20 歳代から 50 歳代までの年代では「活動資金の助成」の割合が高くなっている。

地区別にみると、中央では「会議室等、場所の提供」が 24.3%と、他の地区と比較して高くなっている。

■回答者の属性別にみた「地域で市民活動団体や市民が環境保全活動を行う際、どのような支援が必要だと思いますか。(複数回答可)」

	合計	環境知識・情報について	派遣活動や講師などの	会議室等、場所の	の提供や市民の活動団体	活動資金の助成	その他
全体	1,062	55.9%	38.3%	17.2%	22.9%	36.6%	2.6%
性別							
男性	429	55.7%	38.0%	18.6%	23.3%	35.4%	4.2%
女性	614	56.4%	38.9%	16.4%	22.8%	37.8%	1.6%
年代別							
20歳代	93	50.5%	43.0%	28.0%	26.9%	43.0%	2.2%
30歳代	154	55.8%	37.7%	22.1%	25.3%	45.5%	3.2%
40歳代	160	56.9%	44.4%	21.9%	21.9%	49.4%	0.6%
50歳代	173	52.0%	46.8%	21.4%	25.4%	45.1%	2.3%
60歳代	231	66.7%	38.5%	12.6%	24.7%	28.6%	3.0%
70歳代	148	55.4%	31.1%	7.4%	18.2%	21.6%	4.1%
80歳代	84	41.7%	20.2%	10.7%	15.5%	22.6%	3.6%
職業別							
会社員	317	57.1%	41.6%	22.4%	26.2%	43.8%	1.9%
自営業	85	57.6%	34.1%	14.1%	18.8%	37.6%	2.4%
農林漁業	14	28.6%	64.3%	0.0%	14.3%	50.0%	0.0%
公務員	61	52.5%	42.6%	26.2%	24.6%	42.6%	3.3%
学生	19	47.4%	31.6%	21.1%	26.3%	47.4%	5.3%
無職	380	54.5%	33.7%	12.6%	18.4%	29.2%	3.4%
その他	164	61.6%	43.9%	18.3%	29.9%	36.0%	2.4%
地区別							
東部	357	58.3%	38.9%	16.2%	24.6%	35.6%	1.7%
西部	103	50.5%	32.0%	11.7%	22.3%	35.0%	4.9%
中央	206	54.4%	38.8%	24.3%	28.6%	38.3%	2.9%
南部	170	54.1%	38.8%	15.3%	18.2%	41.2%	4.1%
北部	198	59.1%	42.4%	17.7%	19.2%	36.4%	2.0%

◆ 参考 ◆

○その他の内容

- ・物、場所、資金。
- ・活動に必要な運搬用トラック等の提供サービス等の援助。
- ・市と市民の話し合い。
- ・みんなが自由に気軽に参加できるようなシステム。
- ・市との連携。
- ・日当の支給。
- ・リーダーが必要。

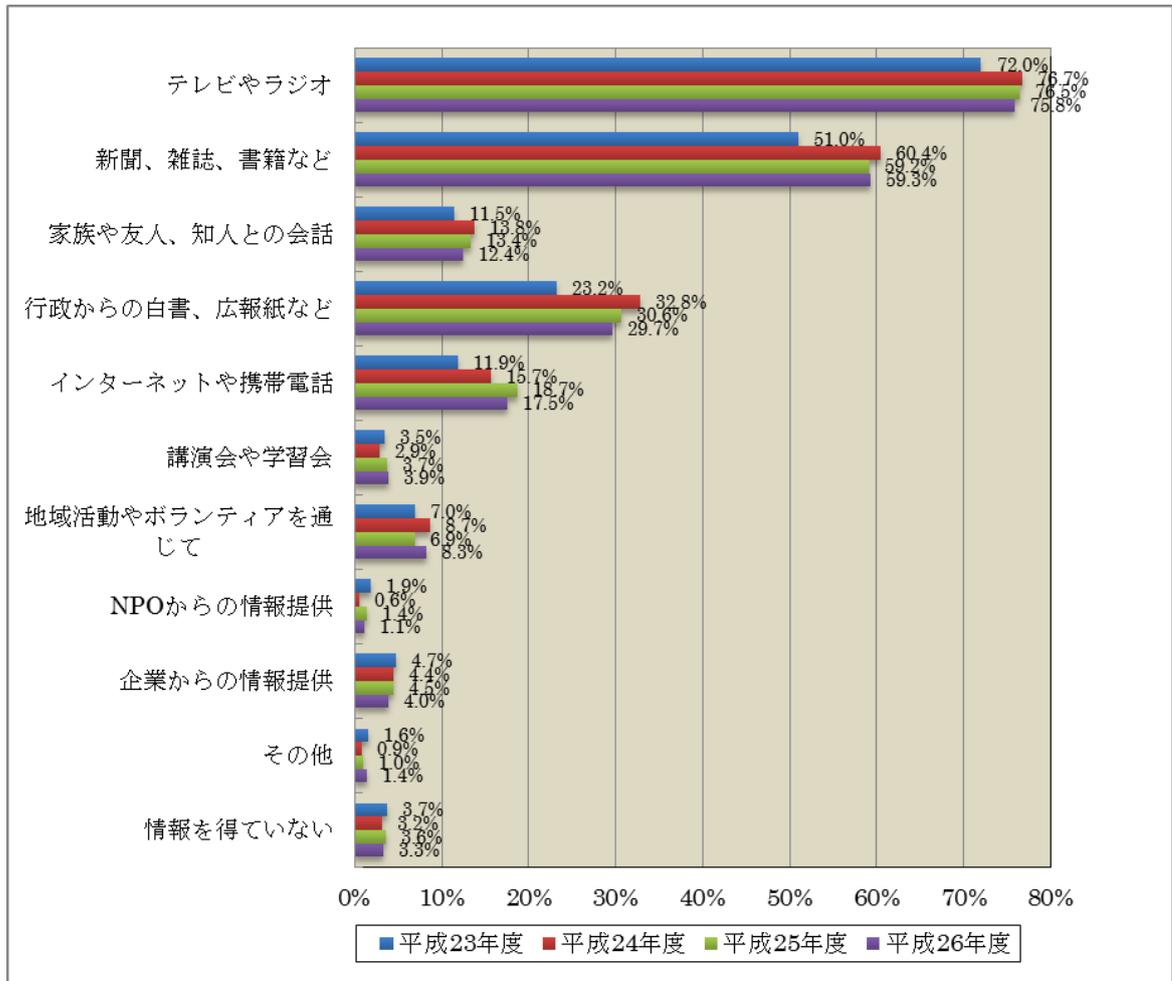
問10. 普段、環境に関する情報を何から得ていますか。(複数回答可)

【全体結果】

「テレビやラジオ」の割合が 75.8%と最も高く、次いで「新聞、雑誌、書籍など」(59.3%)、「行政からの白書、広報紙など」(29.7%)となっている。

【前回調査との比較】

前回調査と比較して、順位・割合ともに大きな変化は見られない。



【回答者の属性別にみた結果】

性別にみると、「家族や友人、知人との会話」の割合が、女性が 14.2%、男性が 9.3%と、女性がやや上回っている。

年代別にみると、「テレビやラジオ」の割合は 20～60 歳代で高くなっており、「新聞、雑誌、書籍など」の割合は 40～80 歳代で高くなっている。また「行政からの白書、広報紙など」の割合は 30～60 歳代で高くなっている。

「インターネットや携帯電話」の割合は、若い年代ほど高くなっており、特に 20 歳代で 47.3%と、他の年代と比較して高くなっている。

■回答者の属性別にみた「普段、環境に関する情報を何から得ていますか。(複数回答可)」

	合計	テレビやラジオ	新聞、雑誌、書籍など	家族や友人、知人との会話	紙など行政からの白書、広報	インターネットや携帯電話	講演会や学習会	地域活動やボランティアを通じて	NPOからの情報提供	企業からの情報提供	その他	情報を得ていない
全体	1,062	75.8%	59.3%	12.4%	29.7%	17.5%	3.9%	8.3%	1.1%	4.0%	1.4%	3.3%
性別												
男性	429	73.4%	61.1%	9.3%	28.0%	18.9%	2.8%	8.9%	2.1%	5.1%	1.4%	3.0%
女性	614	77.5%	58.3%	14.2%	30.9%	16.8%	4.6%	8.0%	0.5%	3.3%	1.3%	3.6%
年代別												
20歳代	93	78.5%	48.4%	15.1%	20.4%	47.3%	2.2%	6.5%	2.2%	5.4%	2.2%	4.3%
30歳代	154	76.6%	45.5%	14.9%	31.8%	29.9%	1.3%	4.5%	1.3%	2.6%	1.9%	5.2%
40歳代	160	82.5%	62.5%	10.6%	28.1%	28.1%	4.4%	10.0%	1.3%	7.5%	0.6%	1.9%
50歳代	173	79.2%	60.7%	9.8%	35.8%	17.3%	3.5%	8.1%	0.6%	5.8%	1.7%	1.7%
60歳代	231	76.6%	69.3%	12.6%	35.9%	7.8%	4.8%	10.8%	1.3%	3.9%	0.9%	3.0%
70歳代	148	68.2%	61.5%	12.8%	22.3%	0.7%	5.4%	10.8%	0.7%	0.0%	1.4%	2.0%
80歳代	84	63.1%	58.3%	9.5%	22.6%	0.0%	4.8%	3.6%	1.2%	2.4%	1.2%	8.3%
職業別												
会社員	317	78.9%	56.2%	11.7%	30.0%	28.4%	1.9%	6.6%	0.6%	8.2%	0.9%	2.8%
自営業	85	75.3%	51.8%	9.4%	20.0%	14.1%	4.7%	12.9%	2.4%	1.2%	1.2%	4.7%
農林漁業	14	78.6%	50.0%	14.3%	21.4%	7.1%	7.1%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
公務員	61	78.7%	70.5%	6.6%	34.4%	27.9%	4.9%	8.2%	3.3%	0.0%	3.3%	0.0%
学生	19	68.4%	42.1%	5.3%	10.5%	42.1%	10.5%	10.5%	5.3%	0.0%	5.3%	5.3%
無職	380	72.6%	61.8%	12.9%	29.5%	7.1%	4.7%	7.9%	1.1%	1.6%	1.1%	3.9%
その他	164	76.8%	63.4%	15.9%	36.6%	17.1%	3.7%	8.5%	0.6%	5.5%	1.8%	3.7%
地区別												
東部	357	77.3%	60.5%	9.5%	25.2%	18.2%	5.6%	5.0%	1.1%	4.8%	1.4%	2.2%
西部	103	73.8%	57.3%	13.6%	31.1%	16.5%	3.9%	11.7%	2.9%	2.9%	1.9%	7.8%
中央	206	76.7%	63.6%	15.0%	30.1%	19.9%	4.4%	9.2%	1.0%	4.9%	0.5%	4.4%
南部	170	72.4%	58.8%	11.8%	33.5%	14.1%	2.4%	9.4%	1.2%	4.1%	1.2%	3.5%
北部	198	76.3%	56.1%	14.1%	34.3%	18.2%	1.5%	11.1%	0.5%	2.5%	2.0%	2.0%

◆ 参考 ◆

○その他の内容

- ・リビング、すばいす、市報。
- ・生活しながら感じ取る。水道水、川、空気、道路、街の汚染など
- ・職場。
- ・大学。
- ・自分自身で自然に接する機会を作る。
- ・回覧板。
- ・学校。
- ・子どもが通学する学校。

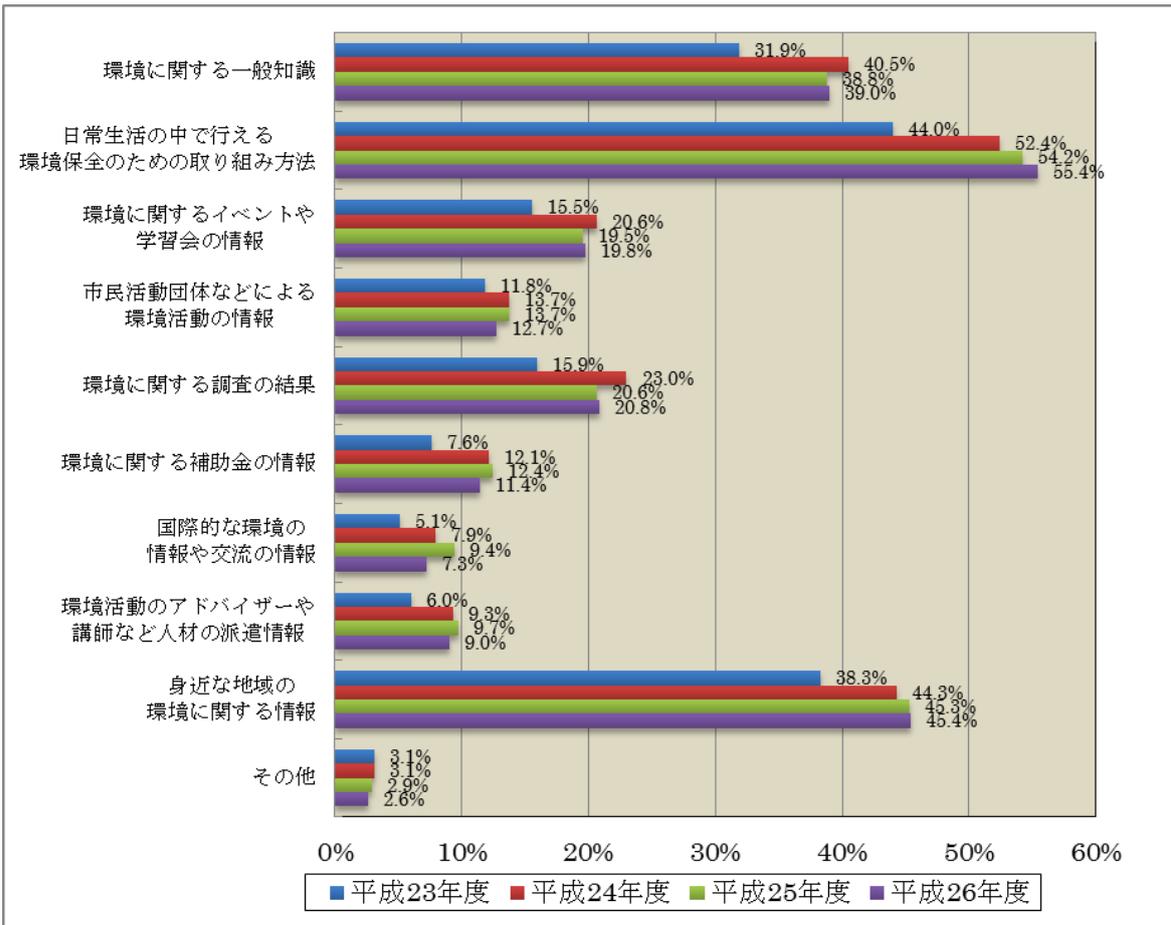
問11. 環境に関する情報について、今後求めたいもの(不足しているもの)は何ですか。(複数回答可)

【全体結果】

「日常生活の中で行える環境保全のための取り組み方法」の割合が 55.4%と最も高く、次いで「身近な地域の環境に関する情報」(45.4%)、「環境に関する一般知識」(39.0%)となっている。

【前回調査との比較】

前回調査と比較して、順位・割合ともに大きな変化は見られない。



【回答者の属性別にみた結果】

性別にみると、「環境に関するイベントや学習会の情報」の割合が、男性が 22.8%、女性が 17.8%と、男性が上回っている。また、「環境に関する補助金の情報」の割合が、男性が 15.4%、女性が 8.6%と、男性が上回っている。

また「日常生活の中で行える環境保全のための取り組み方法」の割合が、女性が 59.3%、男性が 50.6%と、女性が上回っている。

年代別にみると、「日常生活の中で行える環境保全のための取り組み方法」の割合は 30～60 歳代で高くなっている。また、「環境に関する調査の結果」の割合は 20～50 歳代で高くなっている。

■回答者の属性別にみた「環境に関する情報について、今後求めたいもの(不足しているもの)は何ですか。(複数回答可)」

	合計	環境に関する一般知識	日常生活の中で環境保全のために行える取り組み方法	環境に関するイベントや学習会の情報	市民活動団体などによる環境活動の情報	環境に関する調査の結果	環境に関する補助金の情報	国際的な環境の情報や交流の情報	環境活動のアドバイザーや講師など人材の情報	身近な地域の環境に関する情報	その他
全体	1,062	39.0%	55.4%	19.8%	12.7%	20.8%	11.4%	7.3%	9.0%	45.4%	2.6%
性別											
男性	429	40.3%	50.6%	22.8%	14.9%	22.8%	15.4%	8.2%	10.5%	45.2%	3.7%
女性	614	37.6%	59.3%	17.8%	11.1%	19.9%	8.6%	6.7%	8.1%	45.6%	1.8%
年代別											
20歳代	93	37.6%	52.7%	25.8%	12.9%	29.0%	15.1%	12.9%	9.7%	38.7%	3.2%
30歳代	154	40.9%	61.7%	20.8%	11.7%	22.7%	13.0%	9.1%	8.4%	44.8%	2.6%
40歳代	160	37.5%	61.3%	25.0%	9.4%	22.5%	15.0%	10.6%	13.8%	46.9%	1.9%
50歳代	173	35.8%	57.2%	17.9%	13.3%	25.4%	14.5%	6.4%	11.0%	47.4%	2.9%
60歳代	231	43.3%	58.0%	21.2%	14.7%	16.5%	9.5%	6.5%	9.1%	47.6%	1.7%
70歳代	148	37.8%	47.3%	17.6%	15.5%	18.2%	6.8%	4.1%	6.1%	40.5%	4.1%
80歳代	84	33.3%	42.9%	6.0%	8.3%	15.5%	4.8%	1.2%	2.4%	50.0%	2.4%
職業別											
会社員	317	40.4%	53.6%	24.3%	12.0%	24.0%	13.2%	7.9%	10.7%	46.1%	3.2%
自営業	85	40.0%	55.3%	21.2%	15.3%	17.6%	14.1%	10.6%	10.6%	38.8%	2.4%
農林漁業	14	21.4%	42.9%	7.1%	14.3%	14.3%	14.3%	0.0%	28.6%	57.1%	0.0%
公務員	61	29.5%	59.0%	23.0%	14.8%	23.0%	23.0%	8.2%	11.5%	49.2%	0.0%
学生	19	47.4%	36.8%	26.3%	21.1%	31.6%	10.5%	10.5%	5.3%	31.6%	5.3%
無職	380	37.4%	53.9%	15.0%	10.8%	18.9%	8.7%	5.8%	5.8%	45.3%	2.6%
その他	164	42.1%	66.5%	21.3%	15.2%	21.3%	8.5%	7.9%	11.0%	47.6%	1.8%
地区別											
東部	357	42.0%	52.9%	21.3%	13.2%	21.6%	10.6%	6.7%	9.8%	46.2%	2.2%
西部	103	39.8%	56.3%	17.5%	12.6%	17.5%	11.7%	4.9%	2.9%	48.5%	3.9%
中央	206	39.8%	54.4%	24.3%	14.1%	24.3%	13.1%	9.7%	10.2%	45.6%	1.5%
南部	170	32.9%	58.2%	16.5%	10.0%	18.8%	11.2%	7.1%	7.6%	44.7%	4.1%
北部	198	37.4%	60.1%	16.7%	13.1%	21.2%	11.6%	7.1%	11.6%	44.4%	2.5%

◆ 参考 ◆

○その他の内容

- ・河川の環境・地下水保全に関する情報。
- ・学校での教育とそれを支援する仕組み。
- ・市政の重要案件。
- ・新聞で環境問題として各部門ごとに問題点をあげてシリーズで掲載するべきでは。(川、海など)
- ・正確な情報。
- ・地域がおかれている環境問題が分かる資料。
- ・黄砂飛来の日、時間等詳しく知りたい。
- ・分かりやすい説明。環境問題は「難しい」という先入観があるため、興味を持って深く理解できない。
- ・やる事が一目でわかるデザイン。やる気・興味関心。
- ・正しい知識と情報。
- ・家庭で出来る環境保全の方法。

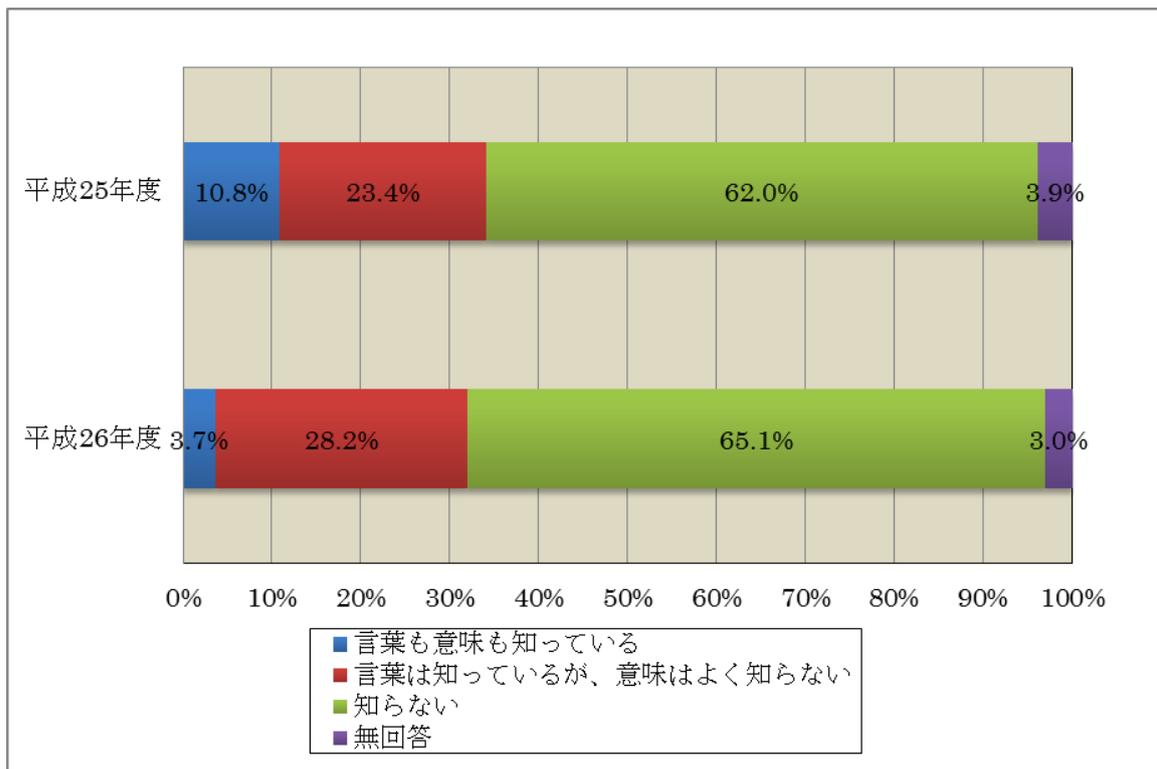
## 問12. 「カーボン・オフセット」について知っていますか。(1つだけ)

### 【全体結果】

「知らない」の割合が65.1%と最も高く、次いで「言葉は知っているが、意味はよく知らない」(28.2%)、「言葉も意味も知っている」(3.7%)となっている。

### 【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、「知っている」の割合が7.1ポイント減少している。



### 【回答者の属性別にみた結果】

性別にみると、「言葉も意味も知っている」の割合が、男性が6.8%、女性が1.5%と、男性が上回っている。また、「言葉は知っているが、意味はよく知らない」の割合が、男性が33.3%、女性が25.2%と、男性が上回っている。

年代別にみると「言葉も意味も知っている」の割合で最も高いのは30歳代だが、全体結果と大差なく、4.5%にすぎない。

地区別にみると「言葉も意味も知っている」の割合で最も高いのは南部だが、全体結果と大差なく、5.9%にすぎない。

■回答者別の属性に見た「カーボン・オフセット」について知っていますか。(1 つだけ)

	合計	言葉も意味も知って いる	言葉は知って いるが、意味はよく 知らない	知らない	無回答
全体	1,062	3.7%	28.2%	65.1%	3.0%
<b>性別</b>					
男性	429	6.8%	33.3%	57.8%	2.1%
女性	614	1.5%	25.2%	70.8%	2.4%
<b>年代別</b>					
20歳代	93	3.2%	25.8%	69.9%	1.1%
30歳代	154	4.5%	29.2%	64.9%	1.3%
40歳代	160	3.8%	31.9%	63.8%	0.6%
50歳代	173	3.5%	34.1%	61.8%	0.6%
60歳代	231	3.9%	26.0%	69.7%	0.4%
70歳代	148	2.7%	28.4%	64.2%	4.7%
80歳代	84	3.6%	20.2%	63.1%	13.1%
<b>職業別</b>					
会社員	317	5.0%	32.2%	62.1%	0.6%
自営業	85	4.7%	24.7%	69.4%	1.2%
農林漁業	14	7.1%	14.3%	71.4%	7.1%
公務員	61	8.2%	36.1%	55.7%	0.0%
学生	19	5.3%	15.8%	78.9%	0.0%
無職	380	2.1%	26.8%	66.6%	4.5%
その他	164	1.8%	27.4%	68.9%	1.8%
<b>地区別</b>					
東部	357	4.2%	28.6%	65.5%	1.7%
西部	103	2.9%	29.1%	65.0%	2.9%
中央	206	3.9%	31.6%	63.1%	1.5%
南部	170	5.9%	27.1%	64.1%	2.9%
北部	198	1.0%	27.3%	68.2%	3.5%

※カーボン・オフセットとは・・・市民、企業、NPO/NGO、自治体、政府等の社会の構成員が、自らの温室効果ガスの排出量を認識し、主体的にこれを削減する努力を行うとともに、削減が困難な部分の排出量について、他の場所で実現した温室効果ガスの排出削減・吸収量等を購入すること又は他の場所で排出削減・吸収を実現するプロジェクトや活動を実施すること等により、その排出量の全部又は一部を埋め合わせること。

※出典：平成 25 年度カーボン・オフセットレポート（平成 26 年 3 月環境省）

## 問13 「生物多様性」について

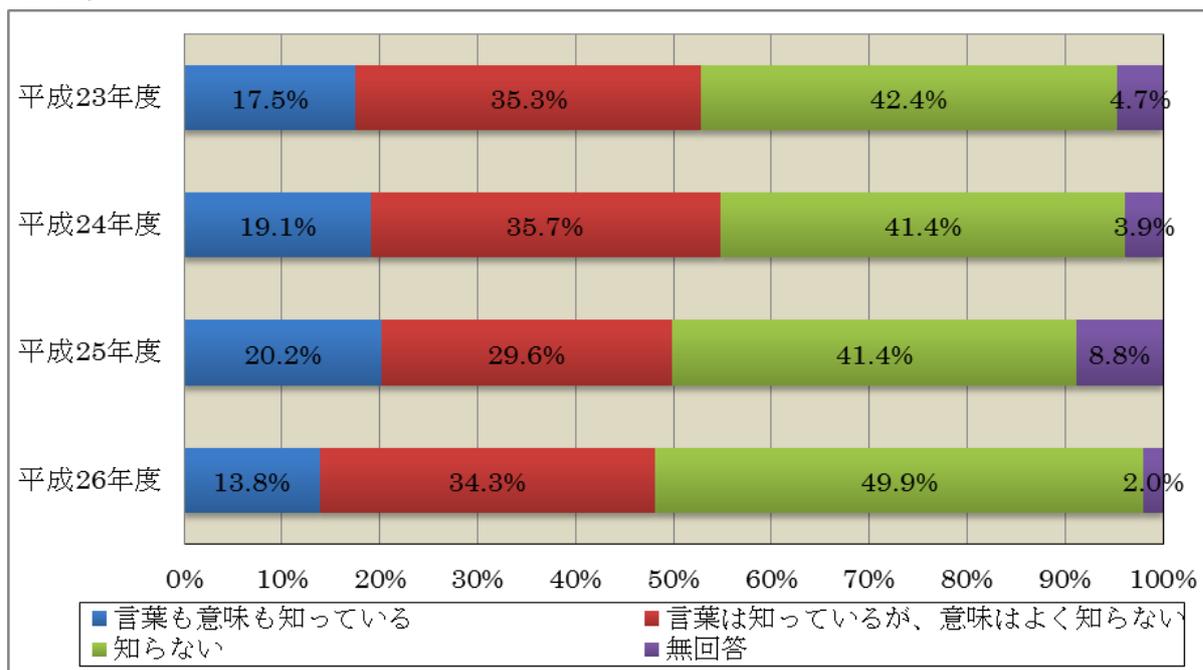
問13. 「生物多様性」について知っていますか。(1つだけ)

### 【全体結果】

「知らない」の割合が 49.9%と最も高く、次いで「言葉は知っているが、意味はよく知らない」(34.3%)、「言葉も意味も知っている」(13.8%)となっている。

### 【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、「言葉も意味も知っている」の割合は 6.4 ポイント減少している。



### 【回答者の属性別にみた結果】

性別にみると、「言葉も意味も知っている」の割合が、男性が 17.7%、女性が 11.6%と、男性が上回っている。

年代別にみると、20 歳代では「言葉も意味も知っている」の割合が 24.7%と、他の年代と比較して高くなっている。

地区別にみると「言葉も意味も知っている」割合は、中央が 17.0%と最も高く、次いで東部(14.8%)、南部(12.9%)となっている。

■回答者の属性別に見た「生物多様性」について知っていますか。(1つだけ)

	合計	言葉も意味も知って	言葉は知っているが、意味はよく知らない	知らない	無回答
全体	1,062	13.8%	34.3%	49.9%	2.0%
<b>性別</b>					
男性	429	17.7%	34.5%	46.6%	1.2%
女性	614	11.6%	34.0%	53.1%	1.3%
<b>年代別</b>					
20歳代	93	24.7%	35.5%	39.8%	0.0%
30歳代	154	11.7%	26.0%	61.0%	1.3%
40歳代	160	16.3%	40.0%	43.8%	0.0%
50歳代	173	13.9%	34.1%	52.0%	0.0%
60歳代	231	9.1%	36.4%	53.7%	0.9%
70歳代	148	14.9%	34.5%	48.0%	2.7%
80歳代	84	15.5%	31.0%	47.6%	6.0%
<b>職業別</b>					
会社員	317	16.1%	35.0%	48.3%	0.6%
自営業	85	9.4%	37.6%	52.9%	0.0%
農林漁業	14	14.3%	42.9%	42.9%	0.0%
公務員	61	16.4%	39.3%	44.3%	0.0%
学生	19	47.4%	36.8%	15.8%	0.0%
無職	380	12.4%	31.8%	52.9%	2.9%
その他	164	12.2%	32.9%	54.9%	0.0%
<b>地区別</b>					
東部	357	14.8%	32.8%	51.3%	1.1%
西部	103	11.7%	30.1%	57.3%	1.0%
中央	206	17.0%	37.9%	44.7%	0.5%
南部	170	12.9%	38.2%	47.6%	1.2%
北部	198	12.6%	32.3%	52.5%	2.5%

※生物多様性とは・・・生物にはいろいろな種がいて（種の多様性）、それらの種内にはいろいろな個性を持った個体がいること（種内の多様性）、さらには、いろいろな生活環境があること（生態系の多様性）を言います。

これらの多様性は、私たち人間にも食糧や医療品、または文化的な価値など多くの恵みをもたらしています。また、多様な生物が存在することで自然界はバランスを保っています。

しかし近年、地球温暖化や外来生物の持ち込みなどによって、生物多様性は危機にさらされています。この生物多様性を保全するために、様々な取り組みが世界中で行われています。熊本市においても、生物多様性についての知識の啓発や、水辺環境や緑地の保全など、自然と共生する豊かなまちづくりに取り組んでいます。

### 3. 調査結果総括

#### (1) ひとづくりプロジェクト

##### 《結果の分析》

###### ① 成果指標について

・「環境について学ぶ機会が増えてきたと感じますか」については、年度ごとに「やや感じる」、「感じる」と回答した割合が減少してきており、学習会やイベント等の機会が十分ではないと感じている市民が多くなってきていることが窺える。

###### ② 環境に関する学習会やイベント等への参加について

・この1年以内で、環境に関する学習会やイベント等に参加した市民の割合は、前回調査と比較すると、2.3%減少した。また、調査初年度の参加した市民の割合は19.9%であったが、その翌年度に1割近く減少し、そこからほぼ横ばい、もしくは減少となっている。上述の「環境について学ぶ機会の不足感」と同様に、実際に参加している市民も減少していることが窺える。

・また、「参加した」と回答した中では、前回調査と同じく「自治会・老人会・PTA等の学習会」の割合が最も高くなっている。また、「行政が主催する講座・講演会・セミナー等」の割合が10%以上増加し、順位も前回調査時の4位から2位に上がっている。

・一方で「自治会・老人会・PTA等の学習会」や「学校や職場で行われる勉強会」、「環境フェアなどのイベント」などに参加した割合は下がっている。

・「参加した」と回答したうちの8割以上が、参加したことによって何らかの環境保全行動を実践するようになったと回答しており、環境について学ぶ機会の拡充が、環境行動の実践につながっていることが窺える。

・環境に関する学習会やイベントに参加しなかった理由としては、「学習会やイベントの開催情報がなかったため」が半数近くを占めており、周知方法等にさらなる工夫が必要と考えられる。また、「時間がなかったため」、「興味がなかったため」も毎年度上位に挙がっている。

###### ③ 環境に関する学習会やイベント等へのニーズ

・今後、どのような内容の学習会やイベント等に参加したいかについては、「日常生活の中で実践できるエコについて学べるもの」や「身近な地域の環境について学べるもの」などが上位を占めており、また、これらの項目は調査開始年度より毎回上位に挙がっていることから、市民の生活に密着した内容のものが求められていることが窺える。

・どのような条件が整えば、より学習会やイベント等に参加したいと考えるかについては、「気軽に参加できること」、「無料で参加できること」又は「自分の都合に合わせて、短時間で参加できること」などが上位を占め、時間的、あるいは金銭的な負担をかけずに、気軽に参加できるものが望まれていることが窺える。

#### ④ 市の取り組みについて

・市民の環境保全意識を高めるために必要な市の取り組みとしては、「学校や社会における環境教育の充実」、「体験学習など自然に触れる機会の提供」又は「環境に関する広報の強化」などが特に多くなっている。

### 《今後の対策》

#### ① 環境について学ぶ機会の拡充

・ライフステージ別環境教育カリキュラムの推進や新規講座の構築等を実施し、様々な年代・性別・ライフステージに応じた環境教育の機会を拡充する。特に、高校・大学等の若い世代や主婦層、そしてシニア世代を対象とした内容の講座が不足していることから、これらのライフステージにおける講座の充実を図る。

また、市内の小中学校や自治会などを通して、講座の受講の呼びかけを行う。

・行政だけではなく、地域の団体や教育機関、企業など、様々な主体による環境教育事業を活性化するため、それらの事業に市の出前講座や体験学習等を活用してもらえよう、内容の見直しや広報を行う。

・未来の担い手である子どもたちの自発的な環境保全活動を推進し、子どもを通じた家庭や地域における環境保全活動の広がりを図るため、「エコキッズリーダー」を育成する。

#### ② 市民からのニーズに応える内容の充実

・既存の出前講座や体験学習等の内容を見直し、より多くの市民が気軽に楽しく学べるような環境教育事業を提供していく。また、新しい環境問題に対応出来るように、最新の様々なテーマの環境学習メニューの充実を図る。

・身近な地域の環境について触れ、考えることで、環境保全行動の実践につながるよう、地域別の環境特性に関する情報を収集し、市民に発信する。

#### ③ 周知方法の工夫及び情報発信の充実

・「くまもと低炭素都市づくり」、「熊本市地球温暖化防止活動推進センター」、「くまもとウォーターライフ」などの各種ウェブページの運用や、環境教育ポスターの作成等により、情報を集約・整理すると共に、市民が利用しやすい環境学習拠点を整備することにより、環境に関する情報を効果的に市民に提供し、学習会やイベントへの参加を促進する。

## (2)まちづくりプロジェクト

### 《結果の分析》

#### ① 成果指標について

・「環境保全に関わるまちづくりの活動が増えてきたと感じますか」については、前回調査と比較すると、「感じる」と「やや感じる」と回答した割合は若干増加しているが、調査初年度からあまり変化は見られない。

・「日頃、地域の環境保全活動に参加していますか」については、前回調査と比較すると、「積極的に参加している」と「できる限り参加している」の割合が減少している。しかし、「参加したことはないが、今後してみたい」と回答した割合を含めると、調査初年度から毎回 8 割以上を占めており、市民の環境保全活動への関心の高さが窺える。

#### ② 環境保全活動への参加について

・現在参加している環境保全活動については、「町内会」、「自治会」又は「子ども会」などの団体が多く、また活動の種類については、「清掃活動」、「リサイクルや資源回収活動」又は「ごみステーションの管理」などの活動が多く、地域に密着した団体で、日常生活に即した活動をしている市民が多いことが窺える。

・自然保護活動や地下水や河川環境の保全活動、歴史文化遺産の保全活動等は、調査初年度より活動していると回答した割合が 1 割に満たない。

#### ③ 環境保全活動へのニーズ

・今後参加してみたい団体については、「町内会」や「自治会」に加えて、「NPO」も上位に挙げられている。

・今後参加してみたい活動の内容については、「清掃活動」及び「地下水の保全活動」が最も多く、「自然林や野生生物などの自然保護活動」や「リサイクルや資源回収活動」、「植樹などの緑化活動」なども上位に挙がっている。

自然保護活動や緑化活動は、実際に参加している人は少ないが、興味を持っている人は多くいることが窺える。

・これまで参加したことがなく、今後もしたくなないと回答した理由としては、「時間がないため」及び「興味がないため」が上位を占めている。

・より多くの人々が、まちづくりとしての環境保全活動に加わるようになる条件として、「日常生活の中で気軽に取り組めること」が回答の 7 割近くを占めており、環境教育同様、気軽に参加しやすいことが求められていることが窺える。

・地域で市民活動団体や市民が環境保全活動を行う際に必要な支援としては、「環境問題についての知識・情報の提供」や「活動のアドバイザーや講師などの派遣」、「活動資金の助成」が上位を占めている。

#### **④ 環境に関する情報について**

・普段、環境に関する情報を得る手段としては「テレビやラジオ」や「新聞・雑誌・書籍など」最も身近なメディアが上位を占めている。

・環境に関する情報について今後求めたいもの（不足しているもの）は「日常生活の中で行える環境保全のための取り組み方法」、「身近な地域の環境に関する情報」又は「環境に関する一般知識」が上位を占めている。

#### **⑤ カーボン・オフセットについて**

・「知っている」の割合は1割にも満たず、さらに前回調査時より7.1%減少している。また、「知らない」の割合が6割以上を占めており、「カーボン・オフセット」という言葉は、まだ市民に浸透していないことが窺える。

### **《今後の対策》**

#### **① 連携の場の形成**

・市民活動団体や県や国の関連機関と連携し、環境フェアの開催などにより市民に対して環境保全活動の実践を働きかけるとともに、各主体による情報交換と連携の場を形成し、効果的な環境情報の提供に努める。

・国際交流や他都市との交流により、情報交換や事業連携を実施し、市民に情報発信することで、環境意識の啓発や環境問題への興味を誘発する。

#### **② 環境保全活動への支援**

・環境問題解決に向けた取り組みを行う市民活動団体に対して、活動資金を助成し支援を行うことで、地域の環境保全活動を活性化し、協働のまちづくりにつなげる。

・ホームページや広報紙、エコキッズサミットなどを通して、エコキッズリーダーの活動を広く市民に発信するとともに、アドバイスや専門家の派遣などの活動支援を行う。

#### **③ カーボン・オフセットの普及・啓発**

・「カーボン・オフセット」が市民の身近な環境保全活動として認識されるよう、環境フェアや熊本城マラソンなどのイベントにおいて、カーボン・オフセットを実践する機会を増やすなどの取り組みを行う。

### **(3)その他**

#### **《結果の分析》**

##### **生物多様性について**

・「言葉も意味も知っている」の割合が、前回調査より 6.4%減少している。また、「知らない」の割合も半数近くあり、生物多様性はまだ市民に浸透していないことが窺える。

#### **《今後の対策》**

##### **① 生物多様性の重要性の発信**

・生物多様性について、様々な媒体・広報手段等を活用し、市民への周知を図る。

##### **② 生物多様性保全のための対策**

・生物多様性を保全し、その恵みの持続可能な利用ができるように、重点的に取り組む地域等を選定した「地域戦略」を策定し、関係各課と連携した自然保護業務を実施し、また、他団体等の情報収集及び連携に努める。

・江津湖地域における豊かな生態系を保全するため、平成 27 年 4 月より施行される「江津湖地域における特定外来生物等による生態系等に係る被害の防止に関する条例」に基づき、江津湖地域への指定外来魚の放流・再放流禁止などの新たな制度をはじめとした、特定外来生物等による生態系等に係る被害を防止する施策の推進や、市民への意識啓発に努める。

## 4. 参考資料(調査票)

### 第3次熊本市環境総合計画 重点協働プロジェクトに関する 市民アンケート

#### ■調査ご協力をお願い

日頃から、本市の環境保全のための取り組みにご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このアンケートは、平成23年3月に策定された「第3次熊本市環境総合計画」の進捗状況を管理し、今後の施策の展開に役立てるために行うものです。

なお、本アンケート調査は、本市の住民基本台帳に登録されている満20歳以上の市民の中から無作為に抽出した3,000人の方々にお送りさせていただいております。

回答内容は全て統計的に処理し、個人が特定されたり、ご迷惑をお掛けしたりすることはございませんので、率直なご意見をお聞かせください。

※第3次熊本市環境総合計画は、熊本市本庁舎の市政情報プラザ及び環境政策課、又は各区役所、各総合出張所及び出張所でご覧になれます。

又は、市のホームページ (<http://www.city.kumamoto.jp/>) でもご確認いただけます。

#### ■アンケートの回答方法について

- ・回答は、封筒の宛名の方がお答えください。(代筆でも結構です。)
- ・回答は、黒の鉛筆又はボールペンでアンケート用紙に記入してください。
- ・アンケート用紙及び返信用封筒には、お名前とご住所の記入は不要です。
- ・アンケート用紙の2ページ目以降を、同封の返信用封筒にて、10月10日(金)までに投函してください。(切手は不要です。)

#### ■お問い合わせ先

熊本市役所 環境局 環境政策課

電話：096-328-2427

FAX：096-359-9945

電子メール：kankyouseisaku@city.kumamoto.lg.jp

担当：白石、橋本

ご回答いただく前にお読みください。

熊本市では、平成23年3月に策定した「第3次熊本市環境総合計画」において重点的に取り組む施策として、「ひとづくり・まちづくりプロジェクト」を掲げています。

「ひとづくりプロジェクト」とは、市民の皆様が環境保全行動を実践するためには、まず環境保全の意識を高めることが重要であるとの考えのもと、様々な年代・性別・ライフステージにおいて、地球環境や地域の環境課題について考える機会を提供し、自発的な環境保全行動につなげていただくための取り組みのことで、さらにはその行動を、家庭や地域など社会全体に広げていくため、人材の育成や活動の場の提供を行っていきたいと考えています。

「まちづくりプロジェクト」とは、これまで環境保全活動に取り組んできたのは、環境意識の高い市民や地域の役員、市民活動団体など、一部の限られた人たちであったこと、また、活動を行いたいと思っても活動の場がなかったり、方法が分からなかったりなどの問題の解決を図ることが必要であるとの考えのもと、より多くの市民の皆様が環境保全活動を活発に行えるような情報の提供を行い、様々な主体の協働体制を促進する取り組みのことで、

そこで、これらのプロジェクトを進めていくための参考とさせていただくため、設問1～5では「ひとづくりプロジェクト」について、設問6～11では「まちづくりプロジェクト」に関することについてお伺いさせていただきます。

#### 〈回答方法〉

\*設問の答えとして、あなたご自身のこと、またはあなたのお考えにあてはまる選択肢の番号に丸(O)をつけてください。

\*設問番号に枝番がついていないものは、全員がご回答ください。  
(例) 問2 この1年以内で、環境に関する学習会やイベント等に参加しましたか。

\*設問番号に枝番がついているものは、条件に該当する方だけご回答ください。  
(例) 問2-2 問2で「参加した」と答えられた方にお尋ねします。

次のページより、設問が始まります。

I 回答者ご自身や地域の環境保全活動等についてお聞きます。

問1～5「ひとづくりプロジェクト」について

問1. 環境について学ぶ機会（学習会やイベント等）が増えてきたと感じますか。（1つだけ）

- 1 感じる
- 2 やや感じる
- 3 感じない

問2. この1年以内で、環境に関する学習会やイベント等に参加しましたか。（1つだけ）

- 1 参加した
- 2 参加していない

問2-1. 問2で「1 参加した」と答えられた方にお尋ねします。  
この1年以内で、どのような、環境に関する学習会やイベント等に参加しましたか。（複数回答可）

- 1 自治会・老人会・PTA等の学習会
- 2 NPOや企業が主催する講座・講演会・セミナー等
- 3 行政が主催する講座・講演会・セミナー等
- 4 学校や職場で行われる勉強会
- 5 環境フェアなどのイベント
- 6 その他（ )

問2-2. 問2で「1 参加した」と答えられた方にお尋ねします。  
参加したことによって、環境保全のために実践するようになった行動（活動）はありますか。また、あるとしたらどういったことですか。（1つだけ）

- 1 ある（実践している内容について、簡単にご記入ください。）  
〔 〕
- 2 ない（実践していない理由について特に何かある場合は記入してください。）  
〔 〕

問2-3. 問2で「2 参加していない」と答えられた方にお尋ねします。  
参加しなかった理由は何ですか。（複数回答可）

- 1 時間がなかったため
- 2 経済的な負担が増加するため
- 3 学習会やイベントの開催情報がなかったため
- 4 興味がなかったため
- 5 その他（ )

問3. 今後、どのような内容の学習会等に参加してみたいと思いますか。（複数回答可）

- 1 日常生活の中で実践できるエコについて学べるもの
- 2 環境問題について基礎的な知識が学べるもの
- 3 省エネルギーや新エネルギーなど、話題になっているテーマについて学べるもの
- 4 身近な地域の環境について学べるもの
- 5 国際的な環境問題について学べるもの
- 6 その他（ )

問4. どのような条件を整えば、より環境に関する学習会やイベント等に参加したいと思いますか。（複数回答可）

- 1 自分の都合に合わせて、短時間で参加できる
- 2 小学校や公民館など、身近な場所で開催される
- 3 無料で参加できる
- 4 気軽に参加することができる
- 5 専門的な知識を身につけることができる
- 6 友人や家族と一緒に参加することができる
- 7 その他（ )

問5. 市民の環境保全意識を高めるために、市としてどのような取り組みを行えば効果的だと思いますか。(複数回答可)

- 1 学習会や講演会などの開催
- 2 学校や社会における環境教育の充実
- 3 環境活動の指導者や地域リーダーの育成
- 4 環境に関する情報を入手できる場の提供
- 5 体験学習など自然に触れる機会の提供
- 6 環境に関する広報などの強化
- 7 環境保全活動に貢献した市民や団体の表彰
- 8 身近な地域の環境保全について考える機会の提供
- 9 その他 ( )

### 問6～12「まちづくりプロジェクト」について

問6. 環境保全に関わるまちづくりの活動が増えてきたと感じますか。(1つだけ) ※例：緑化活動、清掃活動、環境学習に関する活動など

- 1 感じる
- 2 やや感じる
- 3 感じない

問7. 日頃、地域の環境保全活動に参加していますか。(1つだけ)

- 1 積極的に参加している
- 2 できる限り参加している
- 3 参加したことはないが、今後してみたい
- 4 参加したことはないし、今後もしたいと思わない

問7-1. 問7で「1 積極的に参加している」又は「2 できる限り参加している」と答えられた方にお尋ねします。

どのような団体の活動に参加していますか。(複数回答可)

- 1 自治会
- 2 町内会
- 3 PTA
- 4 NPO
- 5 老人会
- 6 婦人会
- 7 子ども会
- 8 自分たちで立ち上げた活動グループ
- 9 その他 ( )

問7-2. 問7で「1 積極的に参加している」又は「2 できる限り参加している」と答えられた方にお尋ねします。

現在、地域においてどのような環境保全活動に参加していますか。(複数回答可)

- 1 自然林や野生生物の自然保護活動
- 2 自然観察会の開催
- 3 植樹などの緑化活動
- 4 森林保全活動
- 5 地下水の保全活動
- 6 河川環境保全活動
- 7 清掃活動
- 8 ごみステーションの管理
- 9 リサイクルや資源回収活動
- 10 歴史的文化遺産の保全活動
- 11 環境問題に関する講演会・勉強会の開催
- 12 環境保全のための寄付
- 13 その他 ( )

問7-3. 問7で「3 参加したことはないが、今後してみたい」と答えられた方にお尋ねします。

どのような団体の活動に参加してみたいですか。(複数回答可)

- 1 自治会
- 2 町内会
- 3 PTA
- 4 NPO
- 5 老人会
- 6 婦人会
- 7 子ども会
- 8 自分たちで立ち上げた活動グループ
- 9 その他 ( )

問7-4. 問7で「3 参加したことはないが、今後してみたい」と答えられた方にお尋ねします。

今後、どのような環境保全活動に参加してみたいですか。(複数回答可)

- 1 自然林や野生生物の自然保護活動
- 2 自然観察会の開催
- 3 植樹などの緑化活動
- 4 森林保全活動
- 5 地下水の保全活動
- 6 河川環境保全活動
- 7 清掃活動
- 8 ごみステーションの管理
- 9 リサイクルや資源回収活動
- 10 歴史的文化遺産の保全活動
- 11 環境問題に関する講演会・勉強会の開催
- 12 環境保全のための寄付
- 13 その他 ( )

問7-5. 問7で「4 参加したことはないし、今後もしたいと思わない」と答えられた方にお尋ねします。

参加したいと思わない理由は何ですか。(複数回答可)

- 1 時間がないため
- 2 興味がないため
- 3 メンバーが固定されていて新たに参加しづらいため
- 4 活動の効果があると思わないため
- 5 その他 ( )

問8. どのような条件が整えば、より多くの人まちづくりとしての環境保全活動に関わるようになると思いますか。(複数回答可)

- 1 環境問題についての知識・情報の普及がはかれること
- 2 環境問題を実際に感じられること(地域の川が昔より汚くなった、など)
- 3 周りを活動に巻き込んでいく中心人物がいること
- 4 実際に活動を行っている人たちの活動内容・成果などが分かること
- 5 日常生活の中で気軽に取り組めること
- 6 付加価値(エコポイント等)があること
- 7 その他 ( )

問9. 地域で市民活動団体や市民が環境保全活動を行う際、どのような支援が必要だと思いますか。(複数回答可)

- 1 環境問題についての知識・情報の提供
- 2 活動のアドバイザーや講師などの派遣
- 3 会議室等、場所の提供
- 4 他の市民活動団体や市民との情報交換や交流を行う場の提供
- 5 活動資金の助成
- 6 その他 ( )

問10. 普段、環境に関する情報を何から得ていますか。(複数回答可)

- 1 テレビやラジオ
- 2 新聞、雑誌、書籍など
- 3 家族や友人、知人との会話
- 4 行政からの白書、広報紙など
- 5 インターネットや携帯電話
- 6 講演会や学習会
- 7 地域活動やボランティアを通じて
- 8 NPOからの情報提供
- 9 企業からの情報提供
- 10 その他 ( )
- 11 情報を得ていない

問11. 環境に関する情報について、今後求めたいもの(不足しているもの)は何ですか。(複数回答可)

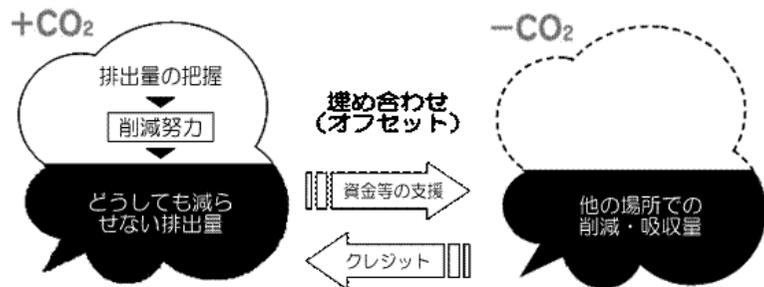
- 1 環境に関する一般知識
- 2 日常生活の中で行える環境保全のための取り組み方法
- 3 環境に関するイベントや学習会の情報
- 4 市民活動団体などによる環境活動の情報
- 5 環境に関する調査の結果
- 6 環境に関する補助金の情報
- 7 国際的な環境の情報や交流の情報
- 8 環境活動のアドバイザーや講師など人材の派遣情報
- 9 身近な地域の環境に関する情報
- 10 その他 ( )

問 12. 「カーボン・オフセット」について知っていますか。(1 つだけ)

- 1 言葉も意味も知っている
- 2 言葉は知っているが、意味はよく知らない
- 3 知らない

※カーボン・オフセットとは・・・市民、企業、NPO/NGO、自治体、政府等の社会の構成員が、自らの温室効果ガスの排出量を認識し、主体的にこれを削減する努力を行うとともに、削減が困難な部分排出量について、他の場所で実現した温室効果ガスの排出削減・吸入量等を購入すること又は他の場所で排出削減・吸収を実現するプロジェクトや活動を実施すること等により、その排出量の全部又は一部を埋め合わせることを言います。

58



※出典：平成 25 年度カーボンオフセットレポート（平成 26 年 3 月環境省）

問 1 3 「生物多様性」について

近年、生物多様性に対する関心が国際的に高まっており、2010年には「生物多様性条約第10回締結会議（COP10）」が名古屋で開催されました。

第3次熊本市環境総合計画においても、目標のひとつとして「人と生きもののつながりについて学び、まもる」ことを掲げており、生物多様性についての知識の啓発や、生物多様性をまもるための自然環境の保全などの取り組みを行っていくこととしております。

そこで、これらの取り組みの進捗状況を計るための指標とするため、次の設問にお答えください。

問 1 3. 「生物多様性」について知っていますか。(1 つだけ)

- 1 言葉も意味も知っている
- 2 言葉は知っているが、意味はよく知らない
- 3 知らない

※生物多様性とは・・・生物にはいろいろな種がいて（種の多様性）、それらの種内にはいろいろな個性を持った個体がいること（種内の多様性）、さらには、いろいろな生活環境があること（生態系の多様性）を言います。

これらの多様性は、私たち人間にも食糧や医療品、または文化的な価値など多くの恵みをもたらしています。また、多様な生物が存在することで自然界はバランスを保っています。

しかし近年、地球温暖化や外来生物の持ち込みなどによって、生物多様性は危機にさらされています。この生物多様性を保全するために、様々な取り組みが世界中で行われています。熊本市においても、生物多様性についての知識の啓発や、水辺環境や緑地の保全など、自然と共生する豊かなまちづくりに取り組んでいます。

II 回答者ご自身についてお聞きします。

1. 性別

1 男	2 女
-----	-----

2. 年齢

1 20歳代	2 30歳代
3 40歳代	4 50歳代
5 60歳代	6 70歳代
7 80歳代及びそれ以上	

3. 職業

1 会社員
2 自営業
3 農林漁業
4 公務員
5 学生
6 無職
7 その他 ( )

4. お住まいの地区 (回答欄に○をつけてください。)

回答欄	該当地区 (小学校区域)
1 東部	画図、健軍、秋津、泉ヶ丘、若葉、尾ノ上、西原、託麻東、託麻西、託麻北、桜木、東町、月出、健軍東、託麻南、山ノ内、長嶺、桜木東
2 西部	古町、春日、城西、花園、池田、白坪、高橋、池上、城山、松尾東、松尾西、松尾北、小島、中島、芳野、河内、
3 中央	壺川、碩台、白川、城東、慶徳、一新、五福、向山、黒髪、大江、本荘、春竹、出水、砂取、託麻原、帯山、白山、帯山西、出水南
4 南部	日吉、川尻、力合、御幸、田迎、城南、田迎南、田迎西、飽田東、飽田南、飽田西、中緑、銭塘、奥古閑、川口、日吉東、富合、杉上、隈庄、豊田、田迎西、力合西
5 北部	清水、龍田、城北、高平台、楠、麻生田、武蔵、弓削、楡木、川上、西里、北部東、植木、山本、田原、菱形、桜井、山東、田底、吉松

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。